京城日報

市内版

（朝夕刊合せて十錢）

發行兼編輯人 宮崎敬治
印刷人 小川三之介

京取市況（二十八日後場）

引跡高含み

大阪短期引跡（二十七日後場）

大阪短期歩み（二十八日後場）

手口と東

ふたむかしの朝鮮

平北の回顧

谷多喜磨

二十周年記念號發刊に際し貴社の朝鮮統治に貢獻された功績を謝ぶる代りに我平安北道二十年間の變遷を回顧して祝辭に代へたいと思ふ。

二十年前といへば恰度明治四十年に該當するが同年は朝鮮として誠に多事な年であつた。今日の內鮮の關係は同年にその基礎が築かれた觀がある。まづ當時の皇太子殿下の御來鮮海牙密使事件李太王の讓位、內政監督の日韓新協約、軍隊解散と次ぎから次ぎに重大なる事件が勃發して行つたのであつて新協約の結果各部次官等重要な地位に內地人官吏が任命されこれが施政革新の基ひであつた。この中には併合後にも長く在官した人もあつたこの年の軍隊解散の結果暴動は朝鮮の各地に蜂起してその餘燼は大正二、三年までも續いた京義線が軍用鐵道として敷設せられその全通を見たのは前年の三十九年であつた、僻陬平北の地に文明の光が照耀したのもこれからである。

平北現在の道廳所在地新義州市街の創設も實にこゝにその發動をなしたものである由來平北は李朝時代において中央政府との政治的交渉が極めて少かつたので兩班儒生なる特權階級者が極めて少かつたと共に白丁といふ特殊の階級の者も甚だ稀であつたいはゞ眞に四民平等の天地であつた。その代りに權門勢家の庇護もなかつた代りに商業經濟が僻陬の地に拘らず、極めて旺盛であつて現に內地に留學して居る者は全鮮中その比を見ないと多數である。之は從來顯職を得ることの出來なかつた反動も手傳つて官職を志して郷關を出づる青年が多い故であらうと思はる。現に併合當時と比べては書堂の數も普通學校の數も非常に增加して私立學校を加へると相當教育を受けつゝあるものが七萬人近くある。中等學校があらたに五校設置せられた事は更に教育の發達を物語るものである。平北は土地の狀態や地方人の性格も內地の東北に似よつた所がある樣に思はれる、維新當時と反對に近時東北に人材續出する樣に將來平安地方に高材逸足の士が出づるではあるまいかと思はれる。昔女眞その他の外敵はこの方面から來寇したので戰亂のちまたと化した事が多かつた。今日なほ殘つて居る百里の長城の如きはその當時の遺物である。しかし近代は中央政府から殆ど疎外された姿であつた爲に從來政治的の內亂は稀中斷亂の禍に罹遭しなかつたが中央の政治に疎する關係も又いつまでも昔のまゝ風馬牛ではなかつた。大正八年の國際的騷擾の時期に滿洲にその根據を擁えた武裝團の鮮內侵入は八年を經た今日といへどもなほその跡を絶たないこの間につとき人命の犠牲のみにしても千人以上に上つて居る狀態で、これが爲數年前までは一時地方郡廳の行政も非常に弛緩の狀態を呈して地方の開發が非常に阻礙された事は返すぐも遺憾な事であるが、地勢交通の狀態にやむを得ないものがあつた事を思ふ。然し今日ではまづ地方民が自覺し警備機關

の後といへども折角配付した桑苗は溫ドルの焚付とされた時代もあつたが今日官の獎勵は地方民の收益を增さんがためであるといふ事は充分に諒解された樣で、地方民に勤勉力行の美風盛んなるに至れば前途の發達は實に刮目を要するものであらう。

最後に地方行政の狀況を考へて見ると、併合前は財務署が分立してをつた當時は道も郡も面も人は極めて少く經費も極めて少かつた歷史は繰返すといふが二十年後の今日再び稅務機關獨立の議あるもまた一奇である。道郡には參事があつて今日の中樞院參議の樣な職員、協議會が生れて相當の發達をして地方の自治も時期の問題なりといはるゝに至つた、面の事務は今日では相當整備して居るが面長一人面吏一人の時代もあつた當時は徵稅機關に公錢領收員なるものがあつた。併合後も面長の宅は面事務所であつて面長の更迭と共に事務所は移轉せざるを得なかつた。今日新築の面事務所に少きも五六人の面職員があり整然たる事務の整頓をして居る。狀況は全く面目を改めたものとはいはねばならぬ。今日までの二十年はかくの如く變遷進步して來た今後の二十年は更に面目を改めん事を希ふ次第である

廟守が家……◇

京城　鈴木呂想子

月明やうち踊みては河鹿捕
そゞろ山河鵑月夜を歩きけり
木犀の匂ひのこもる御門かな
借房や木犀の香を障子越し
木犀のにほひのつきし衣かな
蟲砧音澄みわたり廟近し
廟守が家かとも聽きつ蟲砧
遠砧一つとなりし雨夜かな
月清し庭へ出て砧打たぬかや

京城日報記念號と百大名家の小評論

九月一日より連載す

九月一日より刊行する本紙第二十周年記念號紙上には政界實業界その他あらゆる方面の代表的名家、大家よりの祝辭祝文の寄稿を滿載するが、特に本社東京支局においては、京城日報創刊廿周年を機會として

一、朝鮮統治の實績　一、產業の開發　一、教育の振興　一、內鮮融和
一、朝鮮の印象

等に關する忌憚なき批判所見を求めた所百六余名家の回答に接したので、記念號紙上に掲載する、敬正な諸大家の小評論は蓋し記念號紙上絶好の好讀み物として推薦すべきものであります

小島德彌　松岡正男　小杉未醒　與田利作　石本惠吉　前田河廣太郎
芝染太郎　新居格　小野賢一郎　巖谷小波　野口雨情　西山哲治
宍戸左行　中里介山　江原小彌太　三輪田元道　沖野岩三郎　澤柳政太郎
白井喬二　三島章道　帆足理一郎　佐々木照山　小笠原長生　横山勝太郎
松崎天民　永井郁子　眞繼義太郎　植原悅二郎　仲木貞一　廣池千九郎
幸島竹松　加藤久米四郎　賀田直治　澤田謙　畑耕一　小西和
矢田挿雲　後藤靜香　奥野庄太郎　小田省二　松本君平　松原一彦
千葉龜雄　小野秀雄　高橋佐夫　長田幹彦　橋田東聲　山口金吉
志賀直哉　楢崎觀一　關山惠太郎　平沼淑郎　江渡狄嶺　加藤一夫
藤原久禰吉　辻潤　鈴木文史朗　上田貞次郎　清水文三輔　細木原青起
高群逸枝　深作安文　永代靜雄　生江孝之

筏夫の生活

鴨綠江を下りて【四】

山岸貢

◇……惠山鎭から普天堡まで五里、普天堡から寶泰里まで五里、胞胎里まで四里、三池淵まで五里、神武城まで五里、無頭峰まで四里、山頂まで四里、合計卅三里といふのが、大陸の片道であるらしい、惠山にくる途中の海拔四千尺といふ惠山では普通學校の生徒がころばぬやうにとシヤクナゲのつゑをくれた、惠山では手拭一筋に心をこめてくれた、町といへ都といへ人情一になし、人情にふれゝば心醉しいものである、明ければ廿九日午前九時、一行は隊伍をとゝのへて惠山をあとにする、惠山鎭守備隊から四十五名が行をともにしわれらの糧食や荷を積んだ馬が五十頭、馬夫と、同じく行を共にした惠山警察官並に警官卅名と二百名の大行列であつた、

◇……惠山鎭から胞胎里まで三日の行程であつたが、途中の普天堡にチブスが發生して居たので二日にした、こゝまでは農家も點在して居て普通の街道筋を行くのと變らぬ、郵便電話も通じ、郵便配達夫もくる、山村の生活にも世界のうごきを新聞紙がもたらしてくれるが、胞胎里からは人家が一軒もない、畑もない、全くの千古斧鉞を加へない山路となる、

◇……胞胎里は八千余尺の胞胎山の下、六軒ほどの人家しかない部落の地である、警官駐在所は睡眠や馬の飼料に備へる小屋でかこまれて居る、同所の管下は小さな內地の郡位の面積だが、住民二百四十名、內地人は七人だけ、これは警官である。所長藤川巡査部長は住民に神樣のやうにいはれてゐる、鮮婦人を妻女に迎へ二人の愛兒がある。住民は教育のために小高い丘上に小さな學校を建てた、費用は警官が醵金し自分で小警官が職務の余暇に先生になつて教へる仕組である。

◇……警官を主翁のやうに尊敬して居るのは此の住民、警官の民族化が叫ばれて居るが、こゝは住民と警官が一つのものに融合して居る所も少い、學校はまだ建築中だつた、けなげな警官の努力とこの土地もよくなろう。

◇……火田が實に多い、焼けだされた山の哀れな姿が何萬町歩とも知れない、燕麥の綠はぞつとするやうな綠色である、大體は火田に作つて居るのである、火田は草をとる世話がいらず、殊に作物がうまい、馬鈴薯などは甘味が多く立派なのができる。普通の畑ではこんな味のよいものができぬから、當局が躍起になつて火田防止をしてゐてもなかなか禁斷があがらぬといふ。

◇……胞胎里を流るゝ溪流は骨にしみるほど冷たい鮮魚の一種であるエミンスといふ魚がすばしつこく泳ぐ、岩影に一匹より居ないといはれるこの魚は骨まで軟らかいうまいものである、鹽燒きでも天ぷらでもこの味とても都では味はえぬ。芝居もない、活動館もないそれより人間さえも稀なこの土地に美味な鮮んだ天の調理は有難いことである。

◇……幾つもの山を越さねば惠山鎭から胞胎里までこられぬ。しかしその山路のほとりには、農家も一軒位は時々見られる。胞胎里をあとにすればもう家も人影もない山と密林、三日の露營をせねば白頭山嶺につけない、恰度支那で一番勢力のある馬賊の王德林が暴れ作戰の討伐命令に從いて、部下をどん〳〵白頭山に向けておとして居る頃である、馬賊と會はねばよいがと思ひながら七月卅日の夜を胞胎里でおくり、卅一日朝七時人里をあとに白頭山へ、雨がしとしとゝ降つて居た朝である

曉の沼色……◇

京城　錫永巨朗

秋涼し聊さかの雨こぼしゆく
曉の沼色定る秋の鳥
白々と雲間見ゆる花火かな
背山より雲の花火のあがりけり
秋鳥の來てさりげなし砂の坪
遠花火ともり降りとなりにけり
月涼し帆となる沖の潮鳴りも

病後

菲茄の色ツト走る熱氣かな
花火揚がる四方山ばかりの月
新涼の波たゝまつて日落ちたり

取扱ひしてゐると見たのがアベコベにピンと來たのだから賣方は不思議でならぬとふ首を傾けてる說けば當限の渡米が僅か七千石餘

賣れを取るだから此の中限に期近に囘つたら又占め上げられるのかも知れない

朝鮮文朝鮮語講義錄

新學期開講　新會員募集

各種朝鮮語試驗を經る每に本會講義錄の聲價益々高きを加へ、講師十數氏の懇切なる指導の結果は直に受驗者の答案の上に示されつゝあり。これを以て三種試驗の如き其の合格者の大部分は本會員を以て占むるの觀ある旨總督府試驗委員長より發表されたる位にて是れ本講義錄が如何に內容充實し且受驗者の手引を爲しつゝあるやを最も雄辯に證明するものといふべく、苟も朝鮮語に志すの士は本會に入り本講義錄に就きて朝鮮文朝鮮語を學び以て合格の榮を擔はれんことを

▲每月一回發行・一ケ年卒業

▲第一號は九月中に發行

△諺文入門　總督府通譯官　田中德太郎
△朝鮮語會話　總督府通譯官　田中德太郎
△發音及文法　本會會長　李完應
△國鮮文對譯法　城大助手文學士　尹泰東
▲京城の標準語を學べ　京城帝大教授　小倉進平
▲朝鮮語上達の早道　總督府通譯官　西村眞太郎
▲覺え易い三原因　京城高商教授　山本正誠
▲朝鮮語を陞格せよ　忠北警察部　李種植
▲國文鮮譯の要諦　本會主幹　伊藤韓堂
△漢字の讀方　本會編輯部編纂
△朝鮮熟語用例　京城第一高普教諭　李允熙
△朝鮮書翰文例　每日申報記者　洪承耈
△朝鮮文章講話　本會主幹　伊藤韓堂
△日用朝鮮語六千語集　本會編輯部編纂

總督府・道警察部・憲兵隊の試驗問題及譯文全部揭載

▲會費―一ケ月六十錢―三ケ月一圓七十五錢―六ケ月分三圓四十錢―一年分（全部）六圓五十錢

▲割引―前學期は會費月額七十錢なりしも今回は十錢値下げして六十錢となせり尚十部以上の共同申込には十部に付一部づつ增呈することとせり

見本進呈

京城大漢門前　朝鮮語研究會
電話本局一五七〇番
振替京城一三二四七番

內容改訂　新科目增加

南光社編輯局編

全國高等專門學校入學試驗問題模範解答

發行所　東京市神田區表神保町二　南光社　振替口座東京五七七一

本書は大正十五年度全國官公私立各大學豫科・高等學校・專門學校の入學試驗の全學科目の問題を網羅し、その全部に最も周到な解答を附したもので前記諸學校の教授並びに實際の指導に多年の經驗を有する府縣立中等學校の諸先生に依頼して責任ある執筆を乞ひ萬遺漏なきを期したものであるから精確にして適切なることは言を俟たない。願くは大方の諸君は必ず此の一本を備へて來るべき試驗の勞にめでたく勞の榮冠を贏ち得られんことを。

四六判五百數十頁　定價金貳圓　送料金二十錢

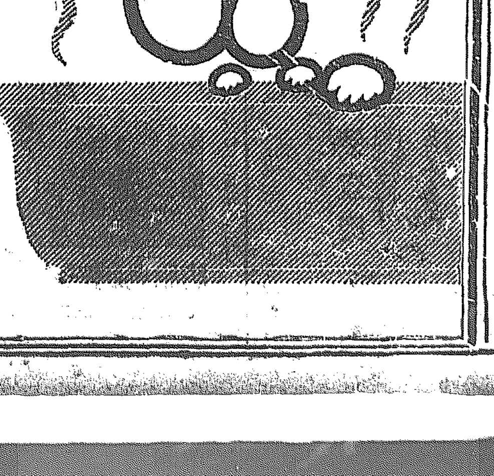
品質本位

花王石鹸

家庭の溫泉

心を安め身を養ひ
元氣と健康を增す
手輕な家庭的慰安

の快よき御入浴



資本金六百萬圓　明治三十八年設立

當銀行ハ預金貸金爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城府南大門通一丁目十四番地

株式會社 漢城銀行

頭取 韓相龍

支店所在地　水原・平壤・大田・開城・釜山・東京・大阪
出張所在地　大邱・京城本町・京城南大門・京城東大門・京城西大門・平壤大和町

電話光化門八〇一・二〇五番

魚釣具　投網

朝鮮水産共進會銅牌受領
朝鮮副業共進會銀牌受領

京城永樂町二丁目

吉備商會

電話本局三四一八番

外科

植村病院

院長醫學博士植村俊二

京城永樂町二丁目

電話本局三一七九二番

資本金五百萬圓

一、當會社は確實を本旨とし御便利に業務御取扱可仕候
一、當會社は損失を公平且つ迅速に支拂可申候
一、電話又は御一報次第社員參上可仕候

日本共立火災保險株式會社

本社　東京市京橋區南新肴町二六　取締役會長　原錦吾

京城出張所　京城府本町三丁目三九番地　出張所長　三鍋才次郎　電話本局一五六六番

鮮內代理店所在地　京城、平壤、仁川、釜山、大邱、大田、鎭海、鎭南浦、群山、木浦、光州、全州、裡里、江景、元山、咸興、城津、新義州、鐵原、沙里院、海州、統營、馬山

九月一日より九月二十日まで

郵便局にて公債賣出し

賣出値段　百圓ニ付九十一圓四十錢ノ割
利廻　六分二厘餘
元金　大正二十七年九月一日支拂
所得税はかゝりません

京城日報

政局の危險性

一

怪寫眞事件といふものに對する世間のさても騷々しさよ、その內容さへ充分ハッキリしないのに、政權に飢たる政黨者流は血眼になつてやれ國體に關するの、やれ內閣は總辭職すべしだのと騷ぎ立てゝる。われ等は怪寫眞の怪よりも、かう問題が國體などいふ超政治的觀念と結びついて政黨のために役立たされ、政權に對する世人の信念がシッカリしてゐないのに乘じて蝙蝠の如き怪物が政界のやみをぬうて出沒することを、より以上に怪としなければならぬ。われ等は何も現內閣の擁護をしようとは思はぬ。江木氏などの提灯持を決して敢てするのではない。しかも事柄は憲政上の大問題である。まづ眼をぬぐふて事件の眞相を把握しなければならぬ。心を冷靜にして問題の政治的意義を檢討しなければならぬ。

二

朴烈文子は大逆犯人である。未決在監中これを他の在監者より特別に「優遇」したり、「懷柔」したり、「同情」を寄せたりした事實があれば、それはいかにも不都合であつたと思ふ。ましてその狂態を演じた寫眞をうつしたものは豫審判事であり、しかもこれを裁判所內において何人かに「盜」まれたといふに至つては、司法部內の風紀を暴露してゐる。撮影の時期は小川法相時代であつても、現法相が一年余りもこの綱紀の紊亂を改めやうとしなかつた責任があるといふのも一理はある。然もこの事件の重大性を帶びてゐるのは、「司法權の威信」に關するからであつて、他の行政官廳にこの位の失態があつても左程大問題とはならない。その司法權の威信は內閣の政綱や政黨的基礎やによつて變化あるべきものでない。司法權の神聖を保護するものは內閣でなく司法當局そのものでなければならぬ。司法部刷新は一大臣一內閣の更迭によつて解決すべきものでないと同時に、この問題の重大性は政治的性質の重大性ではない飽まで司法的性質の重大性である。換言すれば司法權の神聖に關する事柄は政爭題目とすべく余りに嚴肅なものである。從つてそれに政府の政治的責任を問ふべきものでない。

三

小川氏はこの事件に關して自分の責任と分れば政界を隱退し罪を天下に謝するといつてゐるが、それは殊勝な志ざしである。公人の良心の發動としてならば至極結構である。然も大逆犯人の優遇や氣寂取やは一豫審判事の考へでなく、政府全體の責任だといつてゐるのはおかしいと思ふ。それならば當時の加藤內閣員全部は政界を隱退せねばならぬ責任を有する譯であるが、與黨のために判斷力が晦んでゐるやうである。われ等は江木法相としても、たとひ撮影時期が自己の在任中でないにせよ、責任を感じて辭職を申出ても「差支ないとは思つてゐる。」また司法部內の綱紀を刷新し得なかつた事にその「無能」を論告されても仕方がないとは思つてゐる。然し江木氏は斷じてその後斯かる不都合の事實がないと辯護するであらう。それは江木氏の政治道德觀念の問題であるが、內閣全體の責任問題などといふべきでない。ただ政府の責任となるのは朴烈文子の減刑奏請問題である。政友會や本黨の論者はこれを以て國體擁護、朝鮮統治上嚴肅に堪へずとしてゐる。然しながらこの減刑恩典は、天恩海の如きものを一般に感ぜしめたのであつてこれを奏請したことが國體擁護上、はた朝鮮統治上面白くないとは決して思はれないのみならず寧ろその目的のために最善の方法を執つたものと信ずるのである。

四

假にこの事件が政治的色彩を帶ぶることを當然としても、憲政の常道は、議會の信任を失はない以上、みだりに內閣の更迭などあるべきでない。事國體に關するゆゑに內閣は直に總辭職すべしなどといふことは、かへつて國體の尊嚴を瀆して政治的野心の道具にするものである。われ等は皇室や國體を政爭題目にする程怪しからぬことはないと思ふ。それも思想上皇室や國體の尊嚴を無視する如きものに對してはこの論外であるが、國民の眼よりも見て既成政黨のいづれにせよ國體擁護などといつて他を責むる特別の資格があると思はれない。國體を擁護するゆゑんは、みだりに國體を政爭題目にしないことである。殊に政治の公明化を口にし、又は正々堂々の政治を標榜する政黨者流が、議會的行動以外において政府を倒壞せんとする如きは、そもそも何事であるか。政黨內閣は議會に立脚するものである。議會以外の方法にてこれを倒壞すべきでないのである。然も世人をして稍もすれば政權が突發的に起こる如く信ぜしめる傾向や陰謀をやつてゐるのは、政黨自ら議會主義を捨て直接行動主義を執らんとする危險思想ではあるまいか。

事態は益々險惡に

お門違ひの責任 眞っ平御免被る

何が何やらサッパリ判らぬ 在野黨の非難攻擊に對して

首相と法相の協議

【東京電報】江木法相は二十八日午前十時二十分首相官邸に若槻首相を訪ひ約一時間にわたり要談したが、右は怪寫眞事件に關するその後の調査經過につき詳細報告したものであつて、本問題につき政友會その他から頻に政府の責任に關し非難攻擊してゐるが、今日までの調査によれば如何なる事について責任を負ふべしといつてゐるのか判然としない、然し在野黨のいふ所を綜合すれば

一、朴烈夫妻の取調べが寬大に失した不當

二、怪寫眞を豫審判事が寫した不當

三、更にそれが世間に出た事

の三つに歸するやうに思はれる、然し司法大臣は豫審判事の取調べに對し一々指揮監督の責任も權限もない、要するに今日までの野黨の攻擊に對し政府は政治的責任を負ふべきものでないとの意見を述べ種々對策を協議した

黨政派を超越した大事であるからこれを政略黨爭に利用するは嚴に避くべきである、事件の性質既に斯くの如くである以上、政本兩黨は該事件につき共に政府に當ることとならうが、此の結果は自然兩黨の接近を促進するものであらう

政界からは引退せぬ

小川平吉氏語る

【松本電報】怪寫眞事件につき江木法相に對する聲明書を公開し直に歸省した前法相小川平吉氏は「かの寫眞撮影事件が果して余の法相在任時代であつたか否かは速かに政府に日時場所及顛末の詳細を公表すべく希望して置いたが各が予の在任時代のこと一適確となるにおいては責任を負ふに躊躇しない、併し世上に予の在任時代の事件なる時は責めを引ひて政界を引退すべしと宣傳する者がある、一判事が司法大臣としての予の方針に反したとするも責任問題は自から程度を異にする、從つて事件が明白となつた上で責任の輕重が定まるので或は責任を負はず濟むかも知れないが何れにするも司法大臣としての責任で代議士とは別個の問題である、從つて政界引退したい等と言ふ事は考へてゐない、政府が事件の眞相を明白にした上自分の責任を明かにする」と政界引退說を全然否認してゐる

先手を打ち政局を有利に

內閣の捲添を食はぬやう 本黨から緣を切る

【東京電報】床次政友本黨總裁が突如若槻首相を訪問したのは政界に多大のショックを與へたが、この一事において本黨と若槻內閣との間交關係斷絕せるものとの觀測が一般に行けるゝに至つた、しかして若槻首相のもとに乘込んだ床次總裁の肚裡については種々想像されてゐるがその眞に近いと見るべきは左の如くである

一、本黨と憲政會の關係が此の儘で進むときは本黨は憲政會に引ずられて遂に斷倒死をなす虞れある爲め本黨內には種々議が練られてゐたが恰かも朴烈文子の怪寫眞事件が勃發し床次總裁は此の問題を以て憲本間の腐れ緣を斷ち沈滯せる政局の一新生面を打開する爲め此の擧に出た事

一、政局の裏面に隱派の策動せるあり之等の情報に依れば現內閣の壽命は既に見極めがついてゐるのみならず、政局の動きは本黨に有利であるから須らく此の機に政府との惡因緣を斷ち速かに現閣の死命を制すべく積極的策動をなす樣の進言に動かされたものなること

一、小川前法相の江木法相に宛てた公開狀は政局に大なるショックを與へたもので政友會は小川前法相を犧牲にして現內閣倒壞の中心たらしめんとしてゐる、此の時本黨にして何等手を下す事なくば本黨は政黨としての存在を忘却されてしまふ、依つて此の際本黨は大悟一番從前の態度を一變し大活躍をなし內閣倒壞の功を自黨に奪ふ要あり

とされてゐるがこの際本黨は斷然政府對策を一變するは明瞭でありかつ政友會も怪寫眞事件に關する態度は本黨と同一の見解を持しいよいよ議會においては政本兩黨は本問題につき自然共同戰線に立つものと見られてゐる

政本接近を自然に促す

鳩山政友幹事長談

【東京電報】床次總裁が政府と從來の關係を拋擲し朴烈事件の不始末の責を問はんとするは政黨の首領として當然の措置であるが本黨は期せずして政友會と同一目的に向つて進むの結果を招來したものである、事件は國民として默視し得ざることで政

立松判事宅を暴力團員襲ふ

隣家の女中の機轉により 亂暴もせずに逃走

【東京電報】怪寫眞撮影の張本人立松前豫審判事は病氣靜養に名をかり家を外に身を潛め駒込林町の留守宅は房子夫人が警退役を勤めてゐるが廿八日曉暴力團員五六名があはや戶を叩きこわし闖入せんとした隣家の女中の機轉で附近交番から數名の警官が驅けつけた爲怪漢はいちはやく逃走したが駒込署は嚴重に警戒中

今度は告訴され 御難續きの首相

【東京電報】宮內省怪文書、朴烈文子怪寫眞事件等、他の問題を廻り[illegible]いてゐる折柄、自由勞働同盟の角田清吉は二十八日若槻首相および[illegible]保局長現川崎大官を告訴したものである

呉佩孚軍

【上海廿七日發電】呉佩孚軍は[illegible]

奉天で會議

[illegible]

貴族院は沈默

議會を待つて 當局に質問

【東京電報】貴族院方面では怪寫眞問題に關し容喙し政爭兩派の黨爭に策動せりとの誤解を來たすを恐れ議會までは沈默を守つて問題を狙視し議會においてはじめて當局に質問をなし場合によりては秘密會を開き問題の徹底的究明をなし確常の解決をなすといふに意見一致してゐる

寢言の樣な 朴烈の短歌

【東京電報】問題の第二怪寫眞中の朴烈の短歌は左の如くである

十月のよく晴れし日の朝まだき彼の友は行けり〇〇〇〇のもとに、

先きに行つて貴君達を待つてます蹤趣しに彼は言へりき

何時なりけん不圖廊下で相會ひて握手交はせし事もありしが、

其の時に傍につひてゐた看守のいかめいかめと顏しかめしかも

靈出でて風の冷たき秋の朝空に飛び交ふ飛行機のある

飛行機を見て不圖思ふ飛行機乘りに（電文不明）

情報集めに

努める政友會

【東京電報】政友會は怪寫眞事件につき極力情報の蒐集に努めてゐるが三十日幹部會において對策を協議するはずであるなほ事件の成行きによつては本月中には再度聲明書を發表するに至る模樣である

司法部の腐敗を 痛歎して起つ

最初はみどと失敗した 怪文書配布の徑路

【東京電報】怪文書が世上に配布された經過に關し今日まで當局の手に判つてゐる大要を聽くに千駄ケ谷の北一輝邸では當時運夜お救の會、佛のお救と稱して辰川、西田、岩田、渡邊、奥、草野其他北を中心とする一派の人々が集つて時事批判を行つてゐたが席上岩田は手に入れた怪寫眞を示し司法部の腐敗を痛歎し之を世上に示して若槻、江木兩相を詰問し場合に依つては內閣糾彈國民大會を開くべしとの議論が出でそれが遂に具體化されたものである、而して各部署を定めて事に當ることゝなりそれには新聞と連絡を取るが必要だと感じ岩田專らそれに當る事となつたが、思ふ通り行かずそれが爲め宣傳文書作成を思ひつき目下逃走中の馬場園義馬は之れが印刷を引受ける事となつた、そして文書完成後數臺の自動車に同志が分乘し之れを各新聞社及び關係方面に投げ込んだものであるが、右文書の掲載は內務大臣に依つて禁止され殊に文書は當時僞物であるとの世評まで流布されたので計畫は有耶無耶に鬪したかの感あり部內でも大分不平を並べる者があつたが、兎も角北の慰撫に依つて平穩におさまつたのである

なほ事件の裏面には某政黨の鬪士が潜みをり運動費を提供し又某貴族院議員も同樣後援をした形跡があるともいはれてゐる

責任は當然 江木法相に

【東京電報】立松判事が怪寫眞を撮影した事實については小川前法相時代とするもこの怪寫眞が世間に現れるに至つた責任は當然江木法相が負はなければならぬ立場にあり、かつ又怪寫眞が世間に配布せられるや直にこの寫眞は立松豫審判事のやつたことであることが司法當局には明白になつたのである、從つてこの事情を聽取した以上、司法當局は當然、判事懲戒法に照して處斷すべきである、卽ち判事懲戒法には

第一條 凡そ判事を懲戒するは左の場合に於て懲戒裁判所の裁判を以つてすべし

一、職務上の義務に違背し又は職務を怠りたるとき

二、官職上の威嚴又は信用を失ふべき所爲ありたるとき

の規定があり、立松判事の所爲は此の二條項に抵觸するは勿論である、然るに氏の重大事實を隱蔽して懲戒に附せず單に病氣のゆゑをもつて八月十一日付をもつて退職せしめたるは江木法相に重大なる責任あり法相としてはその責任は免れぬとみられて居る

第二の怪寫眞は

豫審決定理由書と二人の醜い姿

絕對秘密のもの外界へ出る

【東京電報】第二怪寫眞といふのは長さ一尺幅七寸五分の大きさで中央正面には石黑が朴烈から託された朴夫婦のいはゆる怪寫眞を掲げ、左右にはこれも同じく同時に託された朴烈、文子の豫審決定書、その下には裁判所が絕對秘密事項として新聞の掲載禁止になつてゐる右決定書の理由書の一部を現した二葉の寫眞が並べられ、殊に一葉に朴烈が獄中で書いた短歌が現れてゐる、しかもこれ等の豫審決定書は朴烈の同志に手渡すべく警視廳所內の嚴重なる監視の目をくぐりぬけ幾重にも小さく折つて石黑に渡したものであることは寫眞の折目シワクチヤになつてゐるのに徵しても明かで、この第二の怪寫眞は朴烈が確實に極秘とされてゐる決定書を外界に出したといふ事實を立證するものと見られてゐる、なほ同寫眞の上部に左の文句が謄寫版で刷りつけてある

『朴烈本人の手より同志に交附ぜられたるもの、右方は朴烈、文子の豫審決定書なり、左方は無罪となりし共同被告八名の豫審決定書なり中央の日本短歌は朴烈の自作自筆なり、用紙は在監人が封筒作業に用ゐる紙片なり、以上と共に朴烈文子の〇〇せる寫眞を委託せられたるなり、此の豫審決定書の官印官文書が僞作に非ざる如く〇〇〇〇の寫眞は在監中司法官吏の手に於て撮影せられたものなり現品は〇〇を濫用し暴力を以て奪取せんとする恐あり他に保管せしむ』

同寫眞は何れも複寫で約三十枚燒き增し北一輝の手で各方面に送附されたものである

第二の事件が 判明する迄

【東京電報】怪寫眞に關して秘密の鍵を握る石黑英一郞は單に同人が獄中において朴烈から問題の怪寫眞並に豫審決定書を託された以前犯人である、卽ち當局は七月上旬頃に重大な何物かが伏在してゐた然に關するものなるや容易に見當つかず、五里霧中になつてゐたところ、八月上旬突如として第二の怪寫眞ともいふべきものが神田駿河臺の西園寺公邸、[illegible]て同樣のものが牧野內府、山本權兵衛伯その他要路の者へ郵送され

司法部內の 醜い內輪揉め

それて何時までも 纏らぬ善後策

【東京電報】怪寫眞事件發覺以來司法首腦部は大いに狼狽し善後措置につき協議に協議を重ねてゐるが容易に纏まるところもない模樣である、しかし眞相が漸次明確となつた今日政府が一日も手を下さずにおいては更に世の疑惑を深めるものとして司法部は今明日中に何とか意見を纏め來週月曜前司法省から或る程度まで事件の成行を公表するに至るものと見られてゐる、しかして事がかく深刻に進展するに拘らず肝腎の司法當局の意向がなか／＼一致を見るに至らないのは司法部內において司法部長老の意見と江木法相を中心とする林次官立石刑事局長等の意見が非常に距離があり兩々相讓らぬが爲であるとの事である司法部長老の意見として傳へらるゝところは事件の性質が單に司法部の威嚴に關するのみならず苟しくも皇室並に帝國の國體に關する重大事件である以上立松前判事の寫眞撮影のときが前小川法相時代に行はれたのであるなら當時の關係者今村裁判所長、和仁控訴院長並林司法次官に進退伺を提出せしめ天下に司法部の嚴正を示すと共に上皇室に對し率り謹慎謝意を披瀝すべし、之れが司法部としての執るべき最善の道である而してそれ以上の問題卽ち江木法相が當時怪寫眞撮影の事實を知りつゝ事を不明裡に葬らんがため當面の責任者立松判事を懲戒處分に附せず却つて依願退職とした責任に對しては江木自ら何分の考慮をなすべしといふにありこの意見は事件發覺と共に江木法相の諮問に應じ建言された意見であると傳へられてゐる、なほこれに對する江木法相および當時の責任者としては既に立松前判事が自發的に辭職したのみならず前法相時代の事件であるから今更、所長、院長次官の進退伺は却つて事態を重大ならしむる虞れがあり寧ろ之れを見合せ事件の經路を發表し且つ立松判事の退職は其事實を知らずして許可したものとして本件の發展を防ぐべしとしてゐる由である

邦商の帳簿を奪ひ 店員を檢束

日本領事の嚴重な抗議で 支那官憲非を改む

【長春特電】長春支那稅捐局の城內邦商に對する不當課稅問題は栗原領事より道尹公署を通じて嚴重交涉中であるが、稅捐局は頗る交涉に對し表面的に誠意ある解決の希望を示すのみで、事實は相變らず不當課稅の擬舞ひを續けてゐるため、栗原領事は廿六日午後三時より道尹公署を訪問し道尹および稅捐局長に最後的強硬交涉を行つた、一方警察手段として館員および長春警察署より派遣した數名の警察官により城內邦商の保護に當たることゝなつたが、稅捐局員は巡警を從へ午前九時より十一時頃までの間に邦人商店四戶に踏込み帳簿を奪ふとゝもに支那人店員各一名を連行し稅捐局に檢束した、この報に接した中保領館部は直に稅捐局に赴き館員並に四店員の放還を要求し嚴重交涉の結果四時頃に至つて漸く解放するに至つた、なほ道尹公署を訪問した栗原領事の斷乎たる交涉によつて支那當局の態度は漸く誠意の實現に向き圓滿解決の曙光を認められるに至つたものゝ如くである

眞相の公表

三十日頃

【東京電報】廿八日午前江木法相が若槻首相と會見の結果怪寫眞事件の顛末はなるべく速かに公表し世人にその眞相を周知せしむるに決したが右發表は多分卅日頃となる模樣である

趣味はゴルフ

故橫部副總裁

廿七日逝去の鮮銀副總裁橫部貫之助氏はまだ經歷しないが、氏は明治十年四月東京に東京府士族橫部氏長男として生れ明治廿七年東京帝大法科卒業直ちに日本銀行に入り京都支店長門司支店長本店文書局長を歷任十四年九月鮮銀副總裁に就任したのであるが、銀行業務には充分經驗があり趣味としてゴルフは優れた腕前をもつてゐると、なほ氏は副總裁に就任以來朝鮮に來たいと云つてゐたが本年五月總會終了後腎臟炎に侵され爾來靜養中の所ついに二十七日死去したのは深く惜まれてゐる。享年五十

しなば茶

本社主催全鮮野球大會は回を重ねること三回、選ばれたチーム七つを以ていよいよ廿九日から三日間京城グラウンドにおいて純眞な血とたましひのかゞやかしい戰ひ開始される▲時は八月末日野球には最もふさはしい盛夏のしかも最高潮ともいふべき時期である▲そこにベストを盡くして力およばざるものは遂に倒れる、要のシンボルであるところの熱と誠の閃きのすべてがそこに懸りて居るではないか▲選手諸君の投げる熱球は若人のたましひそのものと化して飛び、これをミットにおさめるものは全精神をその瞬間ミットのなかに打ち込む▲血湧き肉躍る純眞なる戰ひなればこそ知らず／＼感激と淚のなかに拍手をおくるのであらう▲そのときわれ等は至純そのものがおのれを動かすことを覺ゆる、まことに人間は純なものである▲しかもその瞬間われ等の純であることをはつきり意識しうる、出來うべくんば常にこうした氣持で進みたいものだ▲いざ若人よ戰ひは男々しくあれ、最高勝の努力と結果は勝敗の如何をとはず我等のたましひをゆすぶるのだ

各地の溫度

廿八日正午

間島	七五・〇	靑島	七八・八
上海	八六・〇	長春	七一・六
奉天	七三・四	大連	七七・〇
龍岩浦	七八・八	仁川	八〇・六
木浦	八二・四	雄基	六八・〇
元山	八二・四	長崎	八〇・六
釜山	八四・二	京城	八二・四
新潟	八二・四	東京	八九・六
下關	八四・二	札幌	七五・二

違反の皮切り

分が濃厚となつてゐるが廿八日[illegible]

京日案內

五號活字十六字詰五行一回金壹圓二十錢[illegible]

女給入用 本人來談 黃金町六 中央亭支店 電話龍山五六九

貸家 新築六疊三疊四疊半二階空地ありて閑靜 西大門刑務所前 電光一九八五 中野

至急 二間程の貸間を求む（報酬通知）本社內案內係

仔犬 分讓 五十圓より百圓まで、英國セッター種數頭但し生後二ケ月 仁川自動車商會 別府

讓店 南大門市場內目拔の場所何商にも適する當國の急賣致したし 南米倉町二十二 今井商店

讓店 至急御來見ありたし 京城府本町二丁目七十三番地 裕興館 [illegible]

公債 特別高價に買受申候 各公社債券賣買 京城府古市町三五（電本六九番）江州屋本店

恩給 年金扶助料三ケ年以上 最低利にて [illegible]

恩給 [illegible]

引越 [illegible]

淋病 [illegible]

南京 蟲全滅 [illegible]

ほね つぎくじき [illegible]

見習 [illegible]

募集 [illegible]

ほね つぎくじき [illegible]

公債 及債券高價買入 [illegible]

熊本 [illegible]

社債利子支拂廣告

本社々債利子第九回支拂ノ儀左記ノ通リ取扱可致候間利札引替ニ御受取被下度候

取扱期間 大正十五年九月一日ヨリ同九月五日マデ

取扱場所 殖產銀行京城本店、大田、淸州、鳥致院支店 漢城銀行京城本店、大田支店 明石市 明石銀行、五十六銀行 神戶市 電氣商事株式會社

右取扱間ニ於テ支拂ヲ行フ

大田電氣株式會社

購買入札 新義州營林署

內科小兒科 外科花柳病 松本醫院

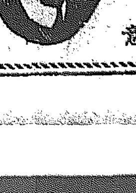
地圖と事務用品 小林文七 朝鮮出張店

毛糸新荷着

本年の直輸入毛糸 英國製ビーハイブ 特約販賣店 京城府明治町 卸小賣 米倉毛糸店 電話本局一三二四

色種類五十餘色揃

慢性胃腸病に デブース氏錠 今晩のんで明朝の容体に御注意 各地知名藥店にあり



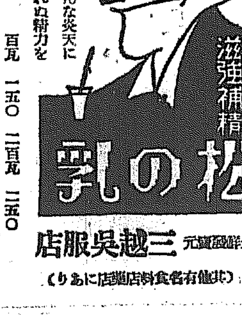
醫學博士 渡邊 譽

皮膚科 泌尿科 性病科 入院隨時

京城 黃金町二丁目一九八 日本生命ビル角 電話本局八九四番

東京工科學校 各期一、二期生徒募集 無試驗編入

滋強補精 松の乳



朝夕の一杯はどんな炎天にもめげない底知れぬ精力を惠みます

百瓦 一五〇 二百瓦 二五〇

三越吳服店

趣味ある不動貯金

奬勵金貳千圓附 毎月發行一券壹圓

入會 抽籤 當籤 仕組 利子

目下丙組第五回券發賣中

大連市信濃町 抽籤日九月十日 振替口座大連二九〇〇番

滿洲不動貯金株式會社

官職を利用した或種の瀆職行爲があると

……を提出した、同人はさきに大正十四年五月十二日[illegible]……第七十三師の師に說密するものとして告發したが間もなく加[illegible]……したため改めて當時の內務大臣若槻首相及び當時の[illegible]

[illegible]……行爲を主張するもの多數で結社……行ふ團體では目下とみに[illegible]

敗走 勝に乘じて北伐軍前進

……も占領され、武昌よりニ百支里の地點に迫りつゝ……その將兵は續々漢口に集中しつゝ……【北京廿七日發電】……に達した電報によれば……地點も陷落したので國軍討伐は一段落と見て……中であるが、その內容は[illegible]

【北京廿七日發電】結局投出しか……[illegible]

榮えある爭覇戰 けふ火蓋を切る

必勝を期する七代表チーム みよ！意氣の亂舞

戰はんかな時來たる。戰はんかな機は熟す、全鮮六地方代表が來たつて中央に覇を爭ふの時はつひに來た。廿八日午前七時オール咸興は北から午前七時半、釜山鐵道、オール全州はそれぞれ南から入城して旬日紅塵にまみれたユニフオームりゝしくつくや直に最後の猛練習にとりかゝりシートノツクにフリーバツテイングに、あざやかさをみせて必勝を期し、オール大邱、第二流三菱は共に彼の地で完全した練習をおへて廿八日夜入城したが一方中央の覇者慶熙倶樂部もまた關東平の下に一糸亂れぬ練習を終へ、前年選手權保持者慶熙倶樂部はすでに我事成れりと自負した、廿八日は纔かに休養して各チーム何れも必勝を期して今日を迎へたのである雨か、あらず嵐か、午前九時壯重なる入場式を終り生田內務局長の始球式にいよいよ大會の火蓋をきり午前十時遂に第一戰を釜山鐵道對オール大邱の試合から戰端こゝ京城グラウンドに渦卷くのである。

雌伏此に三年 謎、咸興の新陣容

新興釜山と老雄全大邱 惑星全州の精鋭揃ひ

釜山鐵道は暫にきく強肩健腕、しかも今春朝鮮選拔野球當時より一層の技術を備へたといふしオール大邱また師鐵のバツテリーを迎へて陣容をとゝのへチームワークの完備にみるものがあるので全く

火の出る樣な接戰を演ずることゝ思はれる、つゞいて午後一時からオール全州對オール咸興の對戰であるがオール全州の實力は昨年の力戰で全鮮的に光りをみせメンバーも昨年と大差ないからすばらしい當りをみせるだらうと咸興は

連年の不振に今年こそは雪辱すべく全く風雨にかゝはらず必死の練習をなしメムバーも大異動をして打擊力に驚くべきものがあるので觀衆をして息をもつげぬ快戰を展開するであらう

觀衆は一時も早く

當日京城グラウンドはネツト裏を特別席とし大會委員席新聞記者席を除くスタンドは全部開放するので優に二萬を擁し得る大スタンドだから全鮮から集まるボールフアンは充分入り得るが過去の記錄によつてもすでに午前五時頃から未だ開かぬ門前に蝟集する有樣であるからなるべく早く來場するが得策だといはれてゐる

戰況を刻々號外で報道

今日の野球爭霸戰の戰績は午前十一時の釜山大邱戰は夕刊および號外……話電報で速報するが午後一時の全州咸興戰と、午後四時の慶熙三菱戰は終了と同時にそれぞれ詳細にしるした號外を發行して逐一報道するはずである

應援規定

一、應援は應援歌又は拍手だけに希ひます
二、プレイの妨害になる鳴り物例へば太鼓ブリキ罐等を禁じます
三、場內の秩序を紊る行爲あるときは退場を要求いたします
四、審判に對する批評彌次は絕對に禁止します
五、其他競技の進行を妨げる一切の行爲を充分謹んで頂きたい

午後七時からラヂオで戰況を報告

野球爭霸戰第一日および第三日の優勝試合は丁度遞信局ラヂオ放送日にあたるので午後七時京日ニユースとして直に經過を放送して貰ふことゝなつたので聽取者殊に南鮮西鮮の代表チームを派された地方の聽取者午後七時以後の朝鮮遞信局（ジエーオーデイーケー局）の放送に注意して頂きたい

名投手高橋と三菱の健棒

梟雄慶熙の守備にせまる雪辱の意氣

午後四時から行はれる慶熙對三菱戰は第一日の興味のまとで慶熙は過去二ケ年つゞいて優勝した老練ぞろひ、しかも近高の名投手として過般の全國專門學校爭霸戰に優勝して一躍日本的になつた高橋を持つことは何よりの强味であらう しかも、三菱また百戰の精鋭を一丸としてその守備は大會を通じて最もすぐれたものと認されてゐるチーム火と飛び血と迸る白熱戰は或は泣かし或は躍らすことだらう興味津々、まことに見る者をして第一回戰の結果や如何に、百萬のボールフアンの興味と感激の中樞をなすわが社主催第三回全鮮野球爭霸戰第一日——勝つは誰、まくるは誰、野球の妙、今日に至つてきまるといつてよからう

大會を飾る優勝旗

大連六殖銀零

大連商業對殖産銀行戰は廿八日午後四時廿五分から須田上原兩審判のもとに開戰兩軍のバツテリー大連圖城寺櫻井殖銀高橋角谷中村で六A對零で大連が大勝した

準備を急ぐ球場 （上、野球場の草とり 下、ラインを引く人夫）

愈よけふから三日間 全鮮野球爭覇戰

第一日【廿九日】（午前九時入場式）
A 釜山鐵道＝オール大邱（午前十時）
B 全全州軍＝オール咸興（午後一時）
C 三菱（第二流）＝慶熙倶樂部（午後四時）

瑞典皇太子を總督が招宴

連絡船で釜山へ御上陸 御日程一部變更す

【東京電報】瑞典皇太子同妃兩殿下は九月十九日午後退京後の御日程につきやゝ變更が加へられ京都奈良、宮島等を經て六日別府に御着七日豐後別府より下關に御直行八日夜關釜連絡船で御渡鮮十月九日釜山御上陸佛國寺より大邱へ成らせられ十一日京城御着同地に三日間御滯在あらせられ齋藤總督の御招宴に臨ませられ附近古刹及考古學上の遺物跡を御見學の後十四日京城發平壤へ向はせられ樂浪古跡を御覽の上十五日同地發奉天へ向はれるはず

內定した御日程

【東京電報】スエーデン皇太子並に同妃兩殿下御渡鮮後の日程は左の如く內定してゐる
▲十月八日 午後十一時關釜聯絡船にて下關御出發
▲九日 午前釜山御上陸、同日釜山驛御發車、大邱御著、自動車にて佛國寺に成らせられ佛國寺ホテルに御少憩後石窟庵を御覽あらせられ佛國寺ホテル御一泊
▲十日 慶州に向はせられ時に殿下の爲め同地の古墳を發掘し叡覽に供す慶州博物館におなりあり御台覽の上附近の新羅時代の歷史的關係各地を巡覽、佛國寺ホテル御一泊
▲十一日、大邱驛御發車京城御着、朝鮮ホテルに入らせらる
▲十二日、十三日、京城御滯在總督府、博物館、李王家、博物館御成り
▲十四日、午前御出發平壤御著、樂浪古墳、御叡覽後、平壤中學に御成りあり樂浪發掘物御覽平壤鐵道ホテル御一泊
▲十五日、午前江西古墳御見學後平壤御發車、新義州に向はせらる
▲新義州よりの御日程は未定

大官を種に百萬圓の大詐欺

富豪政憲頭袖も介在し 謎の公債一千萬圓

【神戸電報】神戸地方裁判所檢事局では去月來異常の緊張振を示し東京と頻に暗合電報で連絡をとり補吉一郎（假名）外二名の被告を取調べ中であるが、右は帝國復興公債なる架空の公債一千萬圓を種に殆ど日本全國を舞臺とした百萬圓の大詐欺事件でその背後には政府要路の大官あり政黨の領袖あり、政黨利權屋、富豪等が介在し發端は關東大震災直後神戸市西須磨の龍川商事の支配人で資產家能谷後郎氏方へ神戸に居住する千萬長者某の紹介で補ほか外二名が、復興公債を今の中に買つて置けば大もうけが出來る、公債は政府の某大官と政友會の某領袖の手もとにあり手みやげにと七千圓を受け姿を晦ましたのである、同氏ははじめて詐欺にかゝつたことを知つたが補は相當の身分あり實家が大阪にあることだからと今日におよんだものである

市民音樂會

廿九日夜京城府廳前で開催される市民音樂會の演奏曲目は左の通り
▲マーチ星旗▲序樂土工及鐵工▲ワルツ曲カルメン▲舞曲六段▲カボツテ曲ルイツ皇后▲和曲沖中白帆▲序曲セミラミス▲マーチコルコラ大學生

「立退け」の地獄風に怖える極樂長屋

頑張る借家人に憤慨して愈よ訴へた李王職

不況續きがたゝつてか近頃裁判所には家屋明け渡し請求訴訟が滅切りふえ、注目すべき訴延現象といはれて居るが廿七日は昌德宮李王の名を以つて水野誠士を

代理人とし府內齋洞八四變德秀、同金有甫、同孫永福の三名を相手取つて京城地方法院民事部に家屋明け渡し請求訴訟が提起された出訴の理由は齋洞八四番地木造瓦葺平家一棟の內三室は子爵尹用求氏の所有家屋であつたが本年三月十八日より原告の所有に歸したもので期限になつても家屋明渡しの明渡さない といふのであるがこの建物は尹用求子が建てゝ窮民を集め無貸の極樂長屋と稱され李王職は尹子より優職擁保として、受取りその後買求めたもので既報の如くごたごたを續けこの建物內にすんで居た

被告人等は頑としてこの建物を中心に交渉もにらみ合ひを續けて居たが李王職もいよいよしびれを切らして整理に着手することになつたものである

廿八戶流失し

沿岸の交通全く杜絕す 氾濫した豆滿江

【淸津特電】豆滿江は廿六日以來の大雨にて增水甚だしく八尺九寸に達し豆滿江沿岸は廿七日夜より危險に瀕したる中廿八日朝鮮岸間島側にて廿四戶流出し交通杜絕、圖們鐵道も線路浸水のため廿八日朝より運轉不能當分開通見込なし

間島の豪雨 各地交通杜絕

【間島特電】廿七日夕刻より間島地方に豪雨あり圖們、汪淸再び氾濫鮮內との連絡杜絕したが一方圖們鐵道も新北、島浦間その他數ケ所浸水にひたり列車の運行不可能となる

交換姬の爲に修養の巡回學校

名士連に囑託して各分局を教室に

中央電話局では保坂局長着任以來第一着手として三千の全加入者に電話故障に關する照會を發し一千二百十通の回答を得申告について三分局に分類し各分局で係員二名が申告のあつた各加入者を戶別訪問し親しく巡視しそれぞれ諒解を求めてゐるが現在の通話數は一日平均十七通話に當たり盛夏の繁忙時十九通話から見ると二通話強の減になつてゐる電話局では交換事務員の精神的方面の教養のため來月から佛教大學出身の大浦賢道師、メソヂスト教會の白戶牧師を囑託しな任局長自身も加はつて毎月三回づゝ各局を巡回講演し精神的方面の修養をなし一方技術方面の練習も怠らず相まつて交換事務の迅速を期することになつた

濟世軍旗あげ

十月頃からほん腰で

近々京城にも佛教濟世軍支部が旗あげをすることゝなつた、本部は八幡にあり眞田慶胤氏を總裁に推してすでに內地では東京大阪を初め各地に三十餘ケ所の支部をおき大々的に運動を試みてゐるが今回丁子屋主人小林源六氏等の斡旋で府內長谷川町六七心悅寮內に假事務所をおき淸成博朗氏が支部長に任じてゐる、濟世軍では惱みある青年男女の相談にあづかり貧の生活を救ぎたいといふのであるが來る十月中旬には本部から眞田總裁以下數名の幹部が來城して一週間にわたり鳴りもの入りで濟世軍の宣傳を行ふことゝなつたが、京城支部だけでもすでに四十人の會員があり將來は貧民救濟や社會事業をもやるべく計畫を急いでゐる

訪日ポ機ワルソー出發

【東京電報】ポーランドの日本訪問飛行家オリンスキー中尉は廿七日ワルソーを出發した

競走機又現る

大西洋橫斷で

【パリ廿七日發電】フランス民間飛行家タラスコン、コリ兩氏はオルテーグ賞二萬五千ドルの懸賞つきのニユーヨークパリー間大西洋橫斷無着陸飛行に參加競爭すべく計畫を進めてゐる右飛行は陸軍飛行家フオンク大尉が近く決行すべく準備中のものであるこれで競爭機は三機となる譯である

銀行團庭球リーグ戰

商銀殖銀鮮銀となし銀行團庭球リーグ戰を組織し其の發會式を廿八日午後七時から長谷川町銀行集會所で舉げ主催者三銀行の庭球部も勸誘する豫定でリーグ戰を行ひ漸次他の銀行庭球部も勸誘する豫定で第一回は九月七日午後四時から鮮銀コートで殖銀對鮮銀の試合をなす筈である

李王職牧場へ種馬御下賜

【東京電報】水原李王職牧場の職馬サラブラツト種インタグリオ號は老衰のため撤て李王職から宮內省に職馬の下附を願ひ出てゐたが今回新冠牧場のチヤペルブラトン號（サラブラツト種）の種と出來た花丸號（三歲）を御下賜相成ることとなつた花丸號は新冠牧場新馬中の優秀なもので同馬は十月中旬頃水原牧場長に渡されるはず同馬の價格は一萬六千圓位である

メガフオン

先達つてのメガフオンで我國にはパーフエクプレイがないといつてゐたが▲去る二十五日明大と神倶の對戰で八對零で明大が勝つた時はノーヒツトノーランだつたさうだ、記者初めて耳にしたパーフエクトレイだ▲この時の明大のバツテリーは安田、天知▲明大の岡田監督大連て四勝一敗した京城と比較して曰く▲大連は數年前とは全く長足の進歩をしてゐる▲尤も、今のクラスからもう一歩進むには相當苦心と努力と、困難がいると△老婆心だらうと思つて、一應きゝおくとしよう▲いよいよわが社の全鮮爭霸戰も今日から蓋があく△ボール飛ばば殘暑も凉しフアン百萬、

列車衝突し死傷七十名

北京發張家口行き

【北京電報】京綏線南口附近で張家口發貨物車と北京發客車と正面衝突し死者卅名負傷者四十名を出した

全快謝禮

京城府櫻井町一ノ五 山口由美（二十九歲）

私事婦人病脚氣にて苦しみ醫藥は勿論種々なる療法を致しましたが何等其効なく折柄府內明治町一丁目赤玉嵐一心堂先生の高名を聞き治療を受けたる處三日目には一變して苦痛去り僅に一週間にして悉く全快致しました嵐先生に紙上を以つて御禮申上げると共に同病にて御惱みの方は一日も早く先生の治療を受けられん事を衷心から御勸め致します

神？人？ 不思議の靈術家 德永雲岳來る

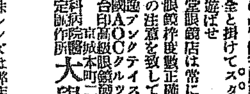
如何なる難病も速治する事受合ひ
八月廿四日より七日間（毎日午前十時より四時迄）
釜山西町 於妙覺寺

各醫科大學御用品
マツルエキス
乳兒 榮養不良 常習便秘 等の治療的榮養劑
「マツツ汁エキス」は「マルトーゼ」を主成分とせる乳兒榮養品にして胃腸障碍の乳兒に對しても容易に消化吸收せられ佳良なる發育を遂げしむ、時に消化不良又は胃腸障碍の場合の如きは全然牛乳又は乳製品の如き食餌療法として「マルツ汁エキス」を與ふるときは便通極めて順調となり同時に豊富なる榮養を供給して愉快なる發育を見るべし
○詳細說明書進呈
○各地藥店販賣
○近頃にせものあり。御注意の上御指名の上御買求め願ひます
株式會社 和光堂大阪支店
大阪市東區南久太郞町二丁目

內科 小兒科 入院隨意
京城若草町大通り
今村醫院
院長 今村豊八
電話 本局 三一八・三一六六

▲於博覽會共進會賞牌受領
低廉 堅牢 ヤナギ椅子
▲行李バス共自產杞柳使用
朝鮮大邱府
東洋杞柳製品會社

眼鏡專門



眼鏡は品質優秀度數確實にして瞳孔距離の完全と掛けてスタイルの好き眼鏡を御撰擇遊ばせ
大學堂眼鏡店は常に其旨を含み完全優美なる眼鏡枠度數正確なるレンズの製作に專心の注意を致して居ます
獨逸ブンクテイスコスレンズ 米國AOクルツクスレンズ特約 高級眼鏡發賣元 各眼科病院醫院指定眼鏡調製所
京城本町二丁目 大學堂眼鏡店
振替京城一二三九番 電話本局二〇七五番
○特殊レンズは弊店工場に於て即時製作仕候 本店所在地大阪

途上【28】

宮崎光男作　梅津星耕畫

（前略）

「寫眞にでもありさうな恰好よ。とても振つてるわ。」

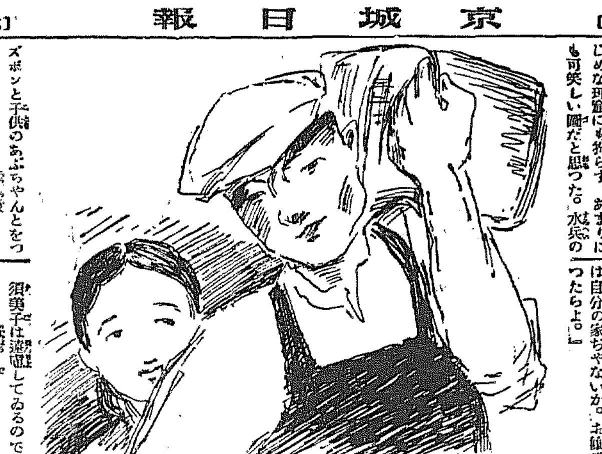
須美子はさういつて笑つたのだつたが、その笑ひには、憐れむやうな調子がまじつてゐるのだつた

「どうだ、なさけないかい。だけど、これが僕の道德つてものなんだから、仕方がないさ。人が人を乘つけてひつ張る事だなんて、あんなみじめな奴隷的生存時代の遺物の力を借りるより、氣が樂なだけでも、この方がどんなにましだか知れやしないよ。それに、人の肉體を驅使する前に、まづ、自らの肉體を驅使せよつてね。」

佐々山は須美子ばかりでなく、健吉にも聞かしてゐるんだといふ風に、かういつた。

「でも……」

須美子は、佐々山のさらりとしたまじめな理窟にも拘らず、あまりにも可笑しい圖だと思つた。水兵の



ズボンと子供のあぶちやんとをつなぎあはしたやうな勞働服を着た佐々山は、がつしりした左の肩に一つの行李を乘つけ、右の手に一つの行李のはしつこの荷繩をつかんで、ちやうど笑ひに適する程度でのへつぴり腰を見してる上に、鳥打帽子を横つちよにすらかぶつてゐるのである。そして佐々山の右手にぶら下げた方の行李の、片ツぽのはしつこをすけた健吉の姿といつたら、これも鳥打帽のひさしを後に向けて、半纏のセルのきもの裾をくるりとまくり上げ、人體標本のやうに細いすねに上體を支えて、それも、荷の重さのために後に反りくりかへつてぴつこひきく、佐々山の早い足と交際してゐるのである。この圖が暗やみでの圖だつたら、須美子も恐らくは、途上の他人の仕事として看過したのであらうけれど、何んしろこれが、明るい街燈のずらりと並びともつてゐるこの一郷の官舍町での圖であつて見れば、そしてまた、行きかふ人々の笑ひに接して見れば、須美子だつて、笑ひたくも、それから、ちつとは憚ない氣にもなるのであつた。」

「でも……何かね、想像外だつたとでもいふのかね。いや、それも御尤も御尤も。一介の勞働者だとはいつても、とにかく官舍つてものに住んでるんだから、もちつとア恰好がついてると思つたらうよ。見ると聞くとは大違ひつてなことさ。よしよし、可愛いお孃さんつてこつたよ。」

佐々山はもうさつきほどの眞面目さからではなく、おどけ半分にいつて、おたまじやくしを横にはりつけたやうな眼をした。深刻な皮肉に聞こえるかと思へば、さらりとした素直さにも聞こえるのはいつたいに、この男のもつ冒瀆の特徴であつたのだ。

「さ、つきましたぜ。これが我輩の棚欄長屋、いや、九節官舍つてんだ。勞働の新宅と大差はないさ。遠慮せずにはいり給へ。これからは自分の家ぢやないか。お孃さんつたらよ。」

須美子は遠慮してゐるのではなかつた。兩方の手にバスケットを持つてゐるので、そこの硝子戸をあけることが出來ないのだつた。

そこのどぶ板の上におろしてもいゝはずである。それをしないで、ぢつと家つきを見てゐる須美子のほんとうの心は、こゝにも、一つの『豫想外』を經驗してゐるからであつた。十軒ほどの家がひとつトタン屋根をかぶつて、まるで一つの列車を見るやうにきちんと並んでゐる前には、どぶ板が、干物屋のほし物のやうに張り切つた同じ幅で、長く通つてゐる。道をはさんだ前側も同じことだ。かういふ醜さからは須美子はたしかに、醜のすつとするやうな快さを覺えたのであるが、しかし、さういふ醜さの中の一軒であることを想ふと、その醜さは、むしろ、うらめしいものに思はれた。

『や失敬く。手がふさがつてたんだね。』

佐々山は先太にふくらんだズボンの足をのばして、硝子戸をけあけた。」

學藝界 —○—

◇ナツメ九月號要目 一茶七番日記を讀む（緖）前號ナツメ俳句評（公風）四季雜詠（寒山選）常季雜詠（帆影郎選）および課題句等のほか地方色研究ページには顏發（朱刀）等を掲げてゐる、發行所は京城黃金町二の一〇五ナツメ發行所。

◇安部正護氏（音樂家）七ケ年間ボストンにて研究中、最近『アケボノ』九十九頁の作曲發表して米國樂壇を驚かした。二十八日橫濱丸にて歸朝

◇小川芋錢氏（畫家）丹波へ旅行院展出品製作中である。

◇辻永氏（同）二十五日東京發家族同伴房州へ。

◇宮原富楠氏（俳人）微恙にて目下靜養中。

◇岩本九畝氏（同）德島縣立江町自宅より二句。

虫の月屋根の瓦のぬれ色に

虫鳴くや闇に愼む眼をよせて

文苑 次回課題

俳句　殘暑　一人五句　高濱虚子先生選

締切　九月五日

注意　用紙は半紙に限る（ニツ折片面に墨書住所姓名雅號明記）宛名は京城日報社文苑係（封皮に京日俳句と記されたし）

京日川柳　井上劍花坊選

題『友』 —(一)—

□ 京城　十の字

友情に細ゆるものを我持たず

停車場で別れた友にそれつきり

妹の部屋へ友達座をかけ

□ 步七八　照記

亡友は好い人でしたみんな云ひ

□ 京城　大眼

友達の奧さんにする要の前

金づかひ散へて友は門で待ち

□ 京城　里水

友達を無理に勸めるストライキ

惡友は善友よりも仲がよし

□ 平原　炎花

仲直りした喧嘩をして見たり

□ 慶北　醜六

友情を感さぬ程度がもどかしい

方國の器なんかは吉人の語

□ 龍岩浦　背の人

惡友であつたそれだけなつかしい

コウカ吟社（きえふ選）

夏深き須重なりて崩れけり　末刀

走馬燈灯ほ兒等の笑み交し　布尺

走馬燈の踏釣はづむ夜店哉　芮城

百足つゞく親鷄雛を呼ぶ鬼　水鏡

竹林の厠のせまる百足かな　慈劍

獅替つゞく湧く井戸や花木槿　背波

廐廂や丹若あせて花木槿　きえふ

玉蜀黍を倒す裏畑夏深し　方外

仁川木馬吟社（邵城選）

山頂に城跡うねり夏の月　雨之介

打水や隣に會釋されもして　木堂

胡藤の靜かにも更けし夏の月　芸窓

夏月や掘拔井戸の水溢る　正栗子

打水の頻りなる町戻りけり　龍峰

水打ちて腰掛子に輕く讀書哉　石弦

打水や彩興おろして門深く　想仙

夏の月ある人は橋を渡り鬼　邵城

金泉句會（汀幽報）

牛に草やりて戻るや稻光　柊青

芥上げて退さし川水や秋燕　砂村

沼釣りのつくばひ人や秋燕　南汀

秋燕や雨に早めて灯すかな　一枝

秋燕や何時出來し叶の酒幕　紫蝶

稻妻や○切り落とす要姿　三晴

二三人に給ひ渡舟や稻光　古都女

傘さして渡る淺瀨や稻光　翠里

渺々と沃野つゞくや稻光　汀幽

新らしい出版物

◇枯野（九月）夜鷹（零餘子）選兒（六山人）桔梗と女郎花（靑草）都會と農村俳句の相互關係（十五家）俳句雜詠（零餘子選）課題句會報、俳句入門欄、新き俳句の作り方など（五十錢東京市外淀橋町柏木四二六枯野社）

◇日佛藝術（九月）佛蘭西美術研究家必讀の記事並に作品の寫眞圖

宮……五十錢 東京日本橋區室町三共ビル共社▲生光（八月）風見明成編輯の俳句雜誌…半三圓東京牛込區市谷本村町共發行所▲金の星（九月）興味ふかい童話と童謠…四十錢東京本郷區動坂町三五九共社▲東洋（九月）五十錢東京麴町區內幸町二丁目東洋協會▲朝鮮遞信協會雜誌（八月）五十錢京城府光化門 信局內朝鮮遞信協會▲日本思想（九月）東京牛込區原町一丁目無水庵▲原始（八月）二十錢東京府下吉祥寺共社▲朝鮮と建築（五ノ七）七十五錢京城黃金町二丁目日生ビル朝鮮建築會▲愛聯之友（九月）十五錢東京神田區北神保町共社▲補民（九月）五十錢東京京橋區常盤町日本補民通信社▲兒童愛護（一ノ三）非賣品京城黃金町二丁目朝鮮兒童協會▲化學工藝（滿洲工業號）一圓桐生市下久方町化學工藝社

將棋新手合（一）

於東京市日本橋區蠣殼町一ノ四　滿呂木將棋所

飛落　△六段 坂塚勘一郎（東京）　▲初段 間宮純一（東京）

△持駒 坂塚氏 なし

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂	銀	一	王	一	一	桂	香	一
一	一	一	一	金	銀	金	角	一	二
歩	歩	歩	歩	一	一	一	歩	歩	三
一	一	一	一	一	歩	歩	一	一	四
一	一	一	一	歩	一	一	一	一	五
一	一	歩	歩	歩	歩	一	一	一	六
歩	歩	一	一	一	銀	歩	歩	歩	七
一	角	一	一	一	一	一	飛	一	八
香	桂	銀	金	玉	金	一	桂	香	九

▲持駒 間宮氏 なし

（圖は五四歩迄の局面）

△三四歩▲七六歩△四四歩▲四六歩△三二金▲四八銀△四二銀▲四七銀△五二金▲五六歩△五四歩▲六八銀△四三金右▲五七銀△五三銀▲三六歩（以下次號）

對局者の感想

▲間宮初段曰くなんだか敵が四三金留めにくるやうに思つたので五六歩と突いて力將棋に指してみた

△坂塚六段曰く敵が力指しにきたので普通定跡に指そうと思つたが力を試驗する意味で四三金右と上つた

滿呂木七段講評

◇上手方五二金と上り敵の指手に據つて變化する含みは大に面白い

◇下手方五六歩と突くは大いに惡い普通定跡通り五六銀と上る可きである

讀者らん

▲廿九日來朝の下足物で電話『知識の問題』お拾ひ方あらば（一女性）▲本年四月産婆試驗に合格した者ですが京城で雇ふて下さる方あらば（水原の女）▲役所のひまに勉強する者です龍山町か旭町で同居人なく近所に子供のゐない靜かな處にありませんか（勉強生）▲最近渡鮮した廿五歳の女です洗濯物か産後の手傳ひさして下さい（南山町話五一五番房崎方キヌ）▲御子供樣方の豫習、復習の御相手致します家族的御世話致して下さる方はございませんか（市內櫻井町一ノ一兒玉五郎）▲二日總督府病院婦人藥渡口で『財布』お拾ひの方へ御親切がありましたら診察券をお送り下さいませんか（おたのみ）▲無ラッパの蓄音機を御賣の方は御座いませんか（府內旭町二の七五平野榮）▲受驗と學生（雜誌）の大正十四年の一月七月十一月號十一年の三月九月號を御持ちの御方はお見せ下さいませんか（電話本局二〇二一岩佐）▲初心者ですが大弓および矢共貸安にて御讓り下さる方はありませんか直接御知らせ下さい（全北鎭安松臣）

經濟欄

大邱 ……

手口と歩み（廿八日後場）▲後場手口 ▲大新、新田、大林、古川、成清、田頭、白栗ウリ、南

朝鮮紡織總會 配當四分可決

馬山銘醸組合案内（イロハ順）

銘酒 大典正宗 馬山府元町 石橋釀造場 電話二七五番

銘酒 總督 馬山府仲町 井手釀造場 電話三〇番

銘酒 寒牡丹 馬山府本町 原田釀造場 電話一四〇番

銘酒 濱鶴 馬山府新町 濱田釀造場 電話二四五番

銘酒 雞林八道 馬山府榮町 西田釀造場 電話一二四番

銘酒 福鶴正宗 馬山府曙町 永武釀造場 電話三五八番

銘酒 惣富士 馬山府榮町 村崎釀造場 電話一〇六番

銘酒 松泉 馬山府通町 松井釀造場 電話六五番

銘酒 蝶々正宗 馬山府通町 五反田釀造場

銘酒 彌生 馬山府通町 千島園釀造場 電話二〇九番

銘酒 松之色 馬山府富町 三好釀造場 電話三一四番

銘酒 大正櫻 馬山府柳町 合資會社 清水釀造場 電話一〇七番

銘酒 井筒正宗 馬山府都町 平井釀造場 電話一三一番

熊本吉田家の家傳 吉田諸毒消丸 定價（金貳拾錢 金壹圓）

右當家の諸毒消丸の儀に付ては滿洲及朝鮮に於ては當家出張店山本清心堂へ一任せしめ他店との取引は一切不致候此段謹告候也

熊本市新細工町七番地 諸毒消丸元祖本舗 吉田順碩

松花堂 京城府西小門外義州通一丁目一八〇 松花堂出張店滿鮮直移入一手販賣 山本清心堂

千古の名藥「吉田家諸毒消丸」の效能あるを模倣し（吉田順碩の名まで書き入れ）其方法巧にして一見判明せざるものさへあり依て當出張店より賣出す諸毒消丸には表面左側に吉田松花堂出張店山本淸心堂と明記しあり御需用の際特に御注意を乞ふ

化學的作用の一番緩和な

◎ミツワ石鹸

母上方よ

お兄樣の健康は清潔に始まります。入浴や、手足を洗ふ事にたえずお努め下さい。決して荒い石鹸や、落ちの惡い石鹸をお用ひなさいませぬやう。お兄樣も一番お好きな、芳香よき

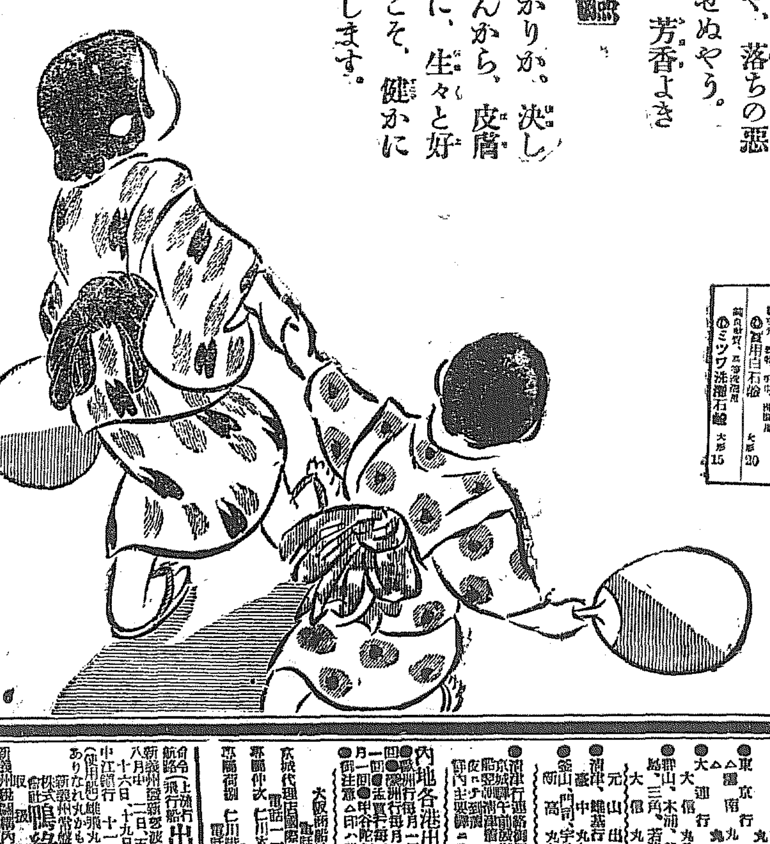
◎ミツワ石鹸

は、作用が一番緩和いばかりか、決して後に石鹸分を殘しませんから、皮膚も毛髮も清潔に成つた上に、生々と好く養ひ整へられて、それこそ、健かにしつとりと、可愛さを增します。

◎ミツワ石鹸を丁度適當の濕の樣に濕いで、陰干にして置きますと水分が蒸發して、益々其效力が好く成ります。是非お試しの程を。

◎ミツワ石鹸の種類（定價）		
大形 30	中形 20	
小形 15	極小形 7	
芳香を主とせる化粧用 ◎煉製ミツワ石鹸		
フローラ 35	二十番 20	三十番 30
◎ミツワ水石鹸		
大壜入 50	小壜入 35	
◎貫用白石鹸	大形 20	
◎ミツワ洗濯石鹸	大形 15	

本舗 東京 ◎丸見屋商店



サッポロビール

リボンシトロン

朝鮮郵船定期航路

京城府光化門通三一〇 朝鮮郵船株式會社

○仁川出帆（代理店大國運送店）

○木浦出帆（代理店山野回漕店）

○釜山出帆（代理店大池回漕店）

○元山出帆（代理店內國通運支店）

[illegible]

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告

仁川出帆

●關門神戸大阪行（釜山木浦寄港）

●東京行

●大連行 大信丸 八月廿八日前十時

●釜山、木浦、釜山、長崎、鹿兒島、三角、若津行

元山出帆 大信丸 九月四日

●淸津、雄基行 中丸 九月六日後五時

●釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 高砂丸 九月六日後二時

●淸津行連絡便利 京城驛午前發列車ニテ連絡

內地各港出帆主要航路 ●歐洲行毎月一回●濠洲行毎月一回●南米行毎月一回●北米行二週一回●孟買行毎月二回●南洋行毎月一回●甲谷陀行毎月一回 御注意△印ハ船客御斷り

大阪商船株式會社仁川支店 京城代理店國際運送株式會社支店 釜山支店 元山支店

出帆廣告

航路（上海行飛行船） 新義州發 鴨綠江船公司

京城日報 夕刊
京城大和町一丁目 發行所 合資會社京城日報社

怪寫眞の—火の手愈よ上る
朴が巧みに盗み外部へ持出さす
司法當局懸命の活動に依り 出所漸く判明す

政界に投じられた一石、朴烈、文子の怪寫眞は大なる波紋を描いて混沌たる渦を卷いてゐるが、司法當局においては怪寫眞の出所を判明しこき疑惑を解決せんと活動を開始し東京地方裁判所檢事局の熊谷、岡田兩檢事が千葉に出張し、同刑務所内で當の朴烈を取調べをなし、漸く出所の輪廓を明かならしむるに至つた、これによつて同事件に對して當局は

一、寫眞は昨年五月中豫審判事室にて立松豫審判事の撮影現象さる

二、立松氏は朴に對して寫眞の分與を承諾したるも與た事實なしれてゐる」

三、其後朴は機會を利用し該寫眞を竊み出し當時入監中なりし石黒鋭一郎に寫眞並に友人への通信を托した模樣あり

五、石黒は之を同志の岩田之雄に示し、岩田は之を北一輝に手交し是より怪文書となつて配布されたるもの

の五點の見解を持する事になり、朴の取調べはこれで一まづ打切り今後は朴と巧に連絡を保つたる外部に對して峻嚴なる取調べを開始する事となつた、しかして五月に撮影したとなれば小川法相時代である事も明白なので、小川氏の去就、政友會の態度は最も注目されてゐる」

問題の石黒 姿を晦ます
既に刑務所に收容さる 張本の北一輝は

朴烈から依託されて怪寫眞を市ケ谷刑務所より搬出せる主謀者、抹殺團を牛耳れる石黒鋭一郎は廿七日東京檢事局に召喚され古山檢事の取調べを受けてゐたが、午後二時頃、同檢事が他の檢事と打合せのため調べ室を出たあと石黒は持參せる帽子、カバンをそのまゝにして脱兎の如く逃走した、これを知つた檢事局は大いに驚いたが、一方警視廳に對して同人の逮捕方を命じ警視廳は各署に手配すると共に大活動を開始した、然して豫て同事件の鍵を握れると目されてゐた東京市外千駄ケ谷居住北一輝が、朴から石黒、石黒から岩田、と渡つた怪寫眞を岩田から手に入れこれを複寫して全國に配布した事も明かとなつたので、同日檢事局は同人に對して拘引状を發し一まづ警視廳に留置したのち、刑務所に收容した、これと同時に戸澤平田、古山三檢事は小林、垂水、八木三豫審判事および警視廳の田山警部と共に自動車をかつて北一輝邸に至り家宅捜査をなし證據書類を押收し、なほ北と連絡をとつた岩田文雄外數名も一味として拘引し、世間の視聽を集めた怪寫眞の出所も判明し、こゝに檢事の活動を招來したのである、北は先に宮内省大官瀆職事件で收容された西田税と一派を手先に使ひ各方面に配布したもので、西田も古山檢事の取調べを受けつゝある

人間愛で寫したが
誰にも與へぬ 立松氏語る

事件の中心人物なる立松前豫審判事は某地方に身を隱してゐたが、廿六日夜ひそかに入京、自宅には入らず、某所の知人邸に落ついた

同氏の入京は當局の召喚に接せるものであるともいはれ、又、同事件について聲明書を起草する爲だともいはれてゐる、同氏は入京の途中

『右寫眞は昨年四月九日に寫したものである、丁度一通りの取調べが終つたのが四月七日で、その翌々日朴烈が兄に送ると云つたので寫した、如何に大逆犯人だとは言へ兄弟にまで罪はあるまい、只人間愛で寫したが自分は斷じて何人にも此の寫眞を與へたことはない』

宣統廢帝をダシに使ふ
奉天宮殿を修築して迎へる 張作霖の民心收攬

『長春特電』張作霖は今日まで荒れはてゝゐた奉天宮殿に昨今巨費を投じて修築中であるが、これは北京において不遇の境涯にある宣統皇帝をこゝに迎へて民心を巧に收攬して威勢を復興させ四百余州を平定せんとする遠謀中にて某國はこれを援助してゐるとの説が傳へられてゐるが、その眞相不明である。また馮玉祥はモスコーで急死したと北京電報は報じたが奉天派の刺客の所爲だと傳はるも不明である

平岩も逃走
石黒の義兄

【東京電報】今回の事件關係者として最も有力視されてゐる石黒鋭一郎の愛女の兄、平岩嚴(二七)も昨日何れにか姿を晦ましたが怪寫眞が石黒の手に入るや石黒は平岩と相談しこれを種に目下石黒にかゝる他の事件關係につき取調べをすゝめてゐた、立松豫審判事を罷免し取調べを手心させようと計劃したとのことである

徹底的に糺彈
床次總裁も乘氣となる

【東京電報】若槻首相との會見を終つた床次總裁は廿七日午後五時三河臺の自邸に松田、松浦、田中[?]、八木各總務、小川幹事長その他幹部の來邸を求め床次總裁より若槻首相との會見顛末を詳細に報告し今後の措置につき懇談したが、松浦總務は綱紀肅正委員會の委員長である關係から

本問題は皇室に關する重大問題であるに拘らず若槻首相の態度は余りに冷淡で甚だ遺憾である就ては我黨としては徹底的に之れが調査をなし眞相の判明次第責任の所在に向つて堂々と糺彈する考であるが如何

と提議したところ床次總裁もこれを快諾し寧ろ激勵するところがあつたので綱紀肅正委員會は一兩日中小委員會を開く事となつた

政爭の具に—とは 餘り卑怯過ぎる
國民に問はうと 口惜しがる憲政少壯派

【東京電報】憲政會は如何に政友會の常套手段とはいへいはゆる怪寫眞問題を政爭の具に供する卑怯は卑怯であると憤慨してゐるが少壯派は近く東京に大演説會を開き怪寫眞事件は勿論松島事件、陸軍機密費事件等の眞相をさらけだし國民の公明なる判斷にまつと意氣まいてゐる、更に角政府および與黨は來る議會において政黨の乘ずべきものあれば直に解散を斷行し普選により爭ひ若し二百名以上の多數を獲得せざる場合は内閣を投げ出しても差支ないと稱してゐる、一説かゝる問題で内閣投げ出し等してたまるかといつてゐる

專門家も及ばぬ 考古學の御趣味
朝鮮でも御研究 御珍客スエーデン皇太子殿下

朝鮮に外國皇太子をお迎えする最初のお方、スエーデンのガスタフアドルフ殿下には今太平洋上にあられ日本に向はれつゝある、秋たけなはに紅葉燃ゆる十月の頃に殿下は朝鮮の御觀光を遊ばされる、地震後の再興した東京が外國皇儲をお迎へするのも最初であり、プリンスオブウエルス殿下御來朝以後には、お珍しいお客さまとして日本の盛んな歡迎を受けられやう

殿下は御歳四十四歳、ガスタフ第五世陛下の第一子にあらせられるが、御英明な事は英皇儲ウエルス殿下と共に双稱されて居給ふ、御幼少の頃から御弟のウイリアム殿下と共に平民的な教育を受られ、小學からウプサラ大學まで一般の學生と机を並べられた、將來スエーデン國王とならせ給へば史上に名高き瑞典の名君チャールス十二世と御同樣な御英明さで史上に燦然とされるであらうと瑞典國民は

崇敬の的にしてゐる、

この御英明は御父君ガスタフ陛下の御訓德の御感化による事とただへられてゐる、大學では考古學を御專攻になり、斯界の御研究では一識見をもたれ給ふが、一九〇五年エジプト古蹟の調査に赴れ給ふた折ヴイクトリア女王の御孫に當たられるコンノート家のマーガレツト姫をカイロにて知り給ひ妃殿下に迎へられたが、間もなく薨去された後、ルイズ妃殿下を迎へられた、

妃殿下

は英國海軍に縁故の深いマウントバツテン將軍家の出、先妃にも優り給ふ聰明な方である、先頃五月ロンドン郊外で秩父宮がゴルフ競技をなされたまたま秩父宮が敗れた時『勝負は國際問題にはならないでせう』と興じられたといふ挿話を生んだ時の御相手が妃殿下の御生家であるマウントバツテン將軍であつた、朝鮮御來遊の日程には慶州の佛國寺、京城の李王職と本府の博物館平壤の樂浪古蹟を御覽察されるがこれは殿下御自ら日程を作成され給ふたもので、普通の

御見物

とは異り、詳細な御研究に從はれるもので、殿下の御趣味のほどもうかゞはれるのである、殿下が足跡をしるされた古蹟は各國にあまねく南部スエーデンのスコーナ地方にあるソフイエロ離宮近郊の古墳發掘は殿下が率先行はせられたものであり、發掘品はスエーデン博物館に飾られて殿下の學界につくされた御功績を物語つてゐる、先年は彩色土器發掘の目的で支那にゆかれたが第一回

奉直戰

のため發掘を斷念された、ギリシヤの古都エレネでは殿下の指揮で古墳發掘にかゝり目下進行中でぞく〳〵古代の遺器が發見されつゝあるスエーデン東洋協會と日瑞協會の名譽會頭にも就任され、また殿下の御首唱で支那研究會を組織されてをられ、支那陶器に對する御造詣が深く、殊に東洋美術に對する御智識は專門の學者をも驚かせられてゐる、支那の古代美術品も多數蒐藏され又最近スエーデンの考古學者アンダゾン博士が支那河南の甘肅地方にて古代

支那の

古墳發掘を敢行してゐるのも殿下の御庇護の下に企てられたものである朝鮮での殿下の御研究はまた學界に貢獻する事と世界考古學界の注目のまとになつてゐる、渡米され給ふた殿下が眞ッ先に引見されたのは、發明王のトーマスエジソン氏で、科學智識に對する殿下の御見識にはさすがの發明王も驚嘆したとの事である此殿下をお迎へする秋の朝鮮の天地は美しく輝くことであらう

第二回全鮮野球爭霸戰
明廿九日より三日間擧行

第一日(廿九日)
A 釜山鐵道—オール大邱(午前十時)
B 全全州軍—オール咸興(午後一時)
C 三菱(鎭南浦)—慶熙倶樂部(午後四時)

第二日(三十日)
Aの勝者—Bの勝者(午後一時)
Cの勝者—龍山鐵道(午後四時)

第三日(卅一日)
優勝戰(午後三時)

場所 京城運動場
主催 京城日報社

大會順序

第一日【廿九日】午前七時半本社來青閣に選手參集△午前八時懇親茶話會△午前八時半本社出發△午前九時入場式、並びに優勝旗優勝盃返還式△午前九時半祝福飛行△午前十時生田内務局長始球

第二日【卅日】午後一時から準決勝戰

第三日【卅一日】午後三時決勝戰

湯淺總監
新義州と安東を視察

【新義州特電】西鮮初巡視のため來新の湯淺政務總監は谷知事宮永警察部長その他の途中出迎へを受け二十七日夜八時三十五分着新驛頭に官民多數の出迎へを受け直にホテルに入り翌二十八日午前八時半より道廳に赴き課長以上を接見して平北道の農業水利事業、學校竣その他につき質問し關係當局の説明を聽取したる上營林署製材所、税關、地方法院を巡視し晝食の後午後一時より府廳樓上にて府内公職者を接見して陳情を聽取し後刑務所、製紙會社、安東領事館鎭江山公園、富士紡績工場等を巡視して六時ホテルに引返し七時より安東官民有志六十余名を招待した

人事消息

▲岡田山林部長 同新義州へ▲鵜谷金山水產試驗場長 廿七日浦尾へ▲細井江原財務部長 同不知火へ▲澤村群山府尹 同惠利京へ▲菊地謙二郎氏(代議士)▲石全南知事、同朝鮮ホテルへ▲京哲博士 同平壤へ▲王民國總領事 同[?]▲井内勇氏(鮮銀理事) 軍任挨拶に廿八日本社來訪▲黒田英雄氏(大藏省主税局長)▲北島謙二郎氏(拓殖局書記官)▲樋貝詮三氏(法制局參事官)税制委員として四日夜入城の筈▲田中晋輔氏(京大教授)廿八日備前屋へ▲村上直臣氏(辯護士)同全北へ▲澤村不二興業取締▲二宮東拓監査課長 同東上▲吉岡同釜山支店長 同赴任

對山錄

床次總裁の首相訪問は往年權兵衛が時の首相桂公に詰腹切らせた薩派直傳の手だといふ。

○辭職しなければ覺悟があるといふ凄い談判なら、何も『私用』だなんて胡麻化すにおよぶまい。それとも若槻氏との間が何かの默契らしいものでもあるのか、政界に一つの謎を與へた。

○現内閣としては、怪寫眞問題で總辭職しようなんて思ふはずがない。たがいよ〳〵形勢惡化してさういふ破目にでもすればそりや政友會に天下を取られたくないに極まつてゐる。後繼首相に床次氏を奏薦し、憲政會が援助の決議をする位のことはやり兼ない。

◇本黨内閣を憲政會が援助するといふなら西公がどう御下問に奉答するかは分り切つてゐる。牧野内大臣の意向はいふまでもないどうやらさういふ甘露日和が本黨を惠みさうにも見えて來た

◇が待てよ、一體この問題で内閣が總辭職しなければならんといふのは、それは誰がいふのだ。何、樞府がいふつて?樞府なんかにそんな出過ぎをさせて堪まるものか。

◇成る程事件が司法權の威信にも關する問題ではあるが、反對黨が騷ぐといつて内閣が辭職した日には、内閣はフランスのやうに始終グラ〳〵してゐることになる。政黨内閣はかういふ場合自己の信任を國民に問ふて、議會を解散するのが立憲の常道といふものだらう。

◇議會が開會中でも解散は差支ない。英國なぞではいつでも解散をするし、日本の憲法にも解散の場合をきめてゐない。

◇然しフラ〳〵腰の若槻氏だ、イクヂなく内閣總辭職となれば本黨に花が咲きさうである。何しろ面白いな。

横部鮮銀副總裁
廿七日夜逝去す

【東京電報】鮮銀副總裁横部實之助氏はかねて病氣にて療養中の處廿七日夜遂に逝去された

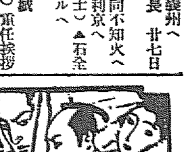
あすの天氣(二十九日)

高氣壓は本邦の南方から朝鮮に擴つてゐるが黄海側がやゝ不安定であるから明日の天氣も不明瞭である

豫報は 曇一時晴

溫度 二十八日正午 二〇、四(華)八六、七
　　 二十七日最高 二七、五(華)八一、五

亂鬪地獄(百三十三)
菊池曉汀作 小寺耕嶺畫



生か死か(十二)

勝ち誇つた吉岡三五郎のかほの色は動いた。

『それを聞かねば貴殿も斷念がつきますまい。少し長いが、引導と思つて明かして進ぜやう』

とは又失禮のいひ分であるが、源五兵衛はとかなる事も打忘れ、今は一言でも自分の利益となる言葉を捕へ、これをつく島にしやうと、あせるのであつた。三五郎は飽まで源五兵衛を嘲笑するもの如く、既死に皮肉の笑ひを浮べ、

『御存じかは知らぬが、勤王を名として暴逆を振ひ幕府顛覆をはかる征誅組と稱する一團があつて、誰でも若その同志のために不利益と認むる者があれば、同志中の屈強なる者が、その者を捕へて袋の中へ入れ、嵯峨の奥の林の下にある、洞穴の中へつれて行つて、活埋にいたすのでござる』

源五兵衛はこれだけ聞き、早くも袋の中といへる一言に耳を留め先に目明し源七の話した事と彼れこれ思ひ比べて、失望の暗黒より東天のほの〴〵と白むが如き光明を認めた心地したのであつた。

『エ、それは實に慘酷な譯でござるな』

『實に慘酷で……』

『實は先頃某がその征誅組の内幕を探れと命ぜられ、種々の手段を求めて、やうやくその同志になつたのでござる。そして征誅組の内情を探つて居る内、大阪へ參つたのでござるが、大阪から歸つて來ると、征誅組の同志の一人が、先頃捕へられて、その者が白状いたしたのでござる』

『エ、同志の一人が……』

『それでその者のいひ立てには、確に祐之助も同志の中に交つて居るのみか、今より二ケ月程以前、最も恐ろしい人殺しを致したのでござる』

『アノ祐之助が……』

『左樣一同の同志と手を下した樣子で、某も充分の證據を集めて、同志一同を一網に捕へる積り、すでにその人殺しの場所を取調べに參つたが、成る程嵯峨の奥の林の下に不思議な穴がございますわい。某もはいへ別に用意もして參らぬから、深く探らずに歸りましたが、洞穴の奥まで探らずとも、か樣な證據がある以上は、祐之助はどうせ死罪は免れませぬぞ』

これだけでは、源五兵衛も取つく島もないので、

『祐之助が死罪になつてもお久の持つて居る遺言書が世に出れば彼奴の財産は貴殿の物とはならず祐之助の血筋の者に傳はる譯ぢや』

『イヤ、それにはこの某には充分計略がござるが、先ア、お聞きなされその穴で祐之助が殺したのは幕府の御役人でござる』

『エ、御府の御役人を……』

『左樣、彼等は御役人であらうと思つて殺したのでござるが、實は御役人ではなく、全くの人違ひでござる』

『それは益々大變ぢや』

『驚きなさるな、彼等はこのそれがしを殺す積りであつたのでござる。この吉岡三五郎だと思つて、ほかの者を袋の中に入れ、連ていつて埋に致したのでござる』

源五兵衛は、初めて黄金の島へついた思ひをした。

一を聞いて十を知る才智にかしこい源五兵衛の事であるから、これだけ聞いて、すでにお久が吉岡三五郎と間違へられ、袋の中へ入れられて、嵯峨の奥の洞穴にいき埋にせられた事を知つてしまつた

『ぢや誰か貴殿の身がはりとなつたのでござるな』

『左樣さ、誰か知らぬが、某の身代りになつたのでござるが、つまりその人の運が惡いと申すものぢや』

これまで聞いて源五兵衛は、躍り上がらんばかりに喜んだ。

貴下は何故
胸がやけるか?
食が不味いか?
身体がだるいか?
胸がつかへるか?

それは皆胃病の爲である
胃活はこれ等の諸症に對して
最も顯著な効能あるものとして
帖佐博士が推奬して居られる。

胃活

胃活の特色
(一)胃活は胃病の特効藥のみを配合してあるから容量少くして効能偉大である。
(二)胃活は一時の消化藥に非ずして根本的の健胃藥である……故に
(三)持藥として用ふるも後に害を殘さない
定價 壹圓・五十錢・卅錢・廿錢

本舖 山田安民藥房
營業所 大阪市東區南久寶寺町
工場 大阪市東成區鶴橋町
◎全國何處の藥店にもあり

愈よ明日

祝福すべき爭霸戰第一日よ

霧雨はれて新秋の空はあくまで高い。統轄された京日野球日和よ。わが社主催第三回全鮮野球爭霸戰第一日は遂に明日となつた。去る七月下旬から全鮮各地の豫選會で興味と感激のうづをまき起こした百萬のボールファンの期待を一にかけられた大會第一日廿九日は、まづ午前七時半開場と共にとゞろく數發の煙花を合圖に會場を開き大會旗を掲揚する、一方各參加チームは八時までに本社に到着し樓上來賓閣の茶話會にのぞみ大會委員長の激勵の辭と注意とをきゝ、應援のより各チーム思ひ／＼のエールの唱和は首途を祝して本社前廣場を埋つくした卅余臺の自動車に分乘して會場に乘込むはずであるこの頃から會場では京城音樂隊の壯重極まる伴奏に大會氣分醸くこくかくて昨年度選手權保持チーム慶熙俱樂部のかゝぐる紺と燃ゆる優勝旗に導かれて各チームは新なる白線美しきダイアモンドを一巡して中央に整列し宮部本社副社長の開會の辭についで激勵の辭、優勝旗返還式から、百羽の放鳩式にいよ／＼大會の幕は切つて落されるのである、この時汝矣島から飛來する西尾大尉の祝賀飛行はほしいまゝに會場上空を飛び廻り處女球を投下し五色の飾紙で大會をいろとりはなびまた碧空にとゞろいて入場式は終り、つゞいて生田內務局長の始球式から砂塵うづまき熱球白線をひいて飛ぶ戰ひが始まるのである

全市に漲る…… ファン感激の聲！

話題は爭霸戰で持ち切り 凄しい大會の前景氣

新秋の空晴れわたり吹く風もさはやかな日よりとなつた天候はわが社主催の全鮮野球爭霸戰を心から祝福してゐるかのやうだめぐまれた絶好の

野球日和 を迎へた市中は渦巻く歡喜に沸騰し壯烈なる戰ひを豫想しながら各人の胸にいひやうのないどよめきを感じてゐる、湯屋であれ床屋であれ電車內であれ寄るとさはると大會の噂で持ちきつてゐる、三越京城出張所のショーウヰンドには大會の優勝旗や總督カップその他の賞品が飾出されてある、それを立寄つて

見る人々 は黒山をなしてなかく立去らうともしないのでサヰシド前は大混雜、あの燃えたつやうな眞紅の優勝旗擦とてかゞやく總督カップ、さては各社寄贈の優勝カップ等ウヰンドの狹きまで並られた賞品や寄贈は多數の人々の羨觀をうけながら晴れの大會へと送り出されるのである、回を重ねるに從ひ各チームの力倆はぐん／＼と上つてきた、殊に今回の大會は前二回の

霸者たる 京城軍に對して何れも強剛をもつて知られる各チームが腕によりかけて肉迫してゐるのだわれこそとんと物凄い意氣込、燃えたつた各精鋭の一騎打は今秋きつての見物であり呼び物であらう、熱心なるファンの血を湧きたゝすのも道理、ファンと選手との胸に

眠られぬ 一夜が明ければいよ／＼大會の幕は切つて落されるのだ

ぜひ勝たねば全州に歸さぬ

歸任の豫定を變更して 應援する亥角前知事

全州軍の應援團長として一流野球通で知られてゐた前全北知事東拓水利組合長亥角仲藏氏は廿六日夜入城巴城館ホテルに投宿中で廿八日發歸任の豫定であつたが恰も野球ファンの

血を湧 かしてゐる本社主催全鮮野球爭霸戰が廿九日から開始するといふので退城を延期し大會の花形である全州軍に應援することゝなつた、野球なら三度の飯を忘れるといふ氏は語る『廿八日夜全北に歸る豫定であつたが全鮮野球大會が翌日から開始するといふので

延期し なければならなかつた公務で來て野球なんか見るといへば人が笑ふかも知れないしかし野球試合にはわざ／＼京城に出かけるつもりでゐるのだからいい機會だと思ふ、何といつても今度の榮冠は全州のものだ勝たなければ歸さない何分京城には全州軍の産婆役をつとめた上瀧君遞信局庶務課長もゐるし多數の

贔屓も ゐる、渡邊知事も野球通でもあるし全北では年中行事氣分だ、いづれ當日全北からは澤山の應援團が乘込むだらうが定めし盛會であらう』

今度こそは雪辱します

あすのプレーを見て下さい 高瀬咸興主將語る

二十八日午前七時オール咸興は北から、オール全州は南から入城したがオール全州は直に、京城師範學校で最後の猛練習をなした咸興の主將高瀬（咸）選手は『毎年の慘敗に今度こそは雪辱しようと百練精鍛をすぐつて來た』と冒頭して、左の如く語つた『今年はメムバーもすつかり變り年齒もぐつと若くなりましたから第一回戰の全州との對戰には必勝の自信に滿ちてをります兎に角明日のプレーをみていかに長足の進歩をし、いかに猛練習にきたへたかをみて下さい、私達は、ほんとに、當日を一日千秋の思ひで待つてゐるんです』と

傳書鳩百羽 一齊に放つ

爭霸戰第一日入場式の際に行ふ放鳩式は第廿師團の傳書鳩班の傳書鳩百羽を各代表チームの選手各自がダイアモンド整列後一齊に放つもので戰ひの前に平和の象徵たる鳩を配してスポーツマンシップの高尙さを表すものである

入場式順序

廿九日第一日の入場式は午前九時から左の順序で行はれる

（一）慶熙俱樂部 （二）オール全州 （三）オール咸興 （四）釜山鐵道 （五）龍山鐵道 （六）三菱（兼二浦） （七）オール大邱

各代表宿所

オール大邱（府內旭町二丁目不知火旅館）▲三菱（驛前二見旅館）▲オール全州（府內長谷川町備前屋旅館）▲オール咸興（驛前三重旅館）▲釜山鐵道（龍山內田旅館）▲慶熙俱樂部（府內義州通二）▲龍山鐵道（龍山）

各地の應援團續々入城す

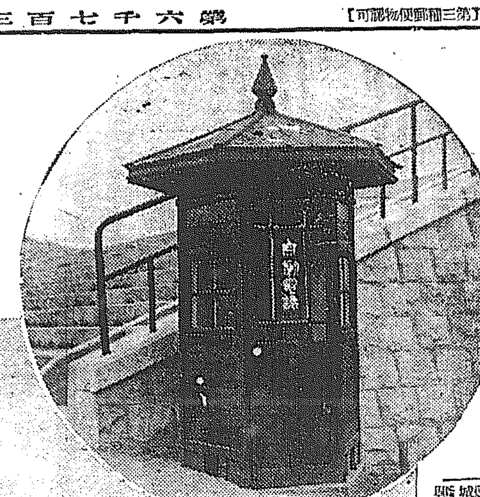
京城全市野球化す

爭霸戰中は連日朝鮮軍司令部の軍樂隊見物を初め仁川からも大學五百名來城しオール全州は亥角前知事を團長とした數百の應援團あり釜山鐵道も廿八日午前十時選手の入城と共に數十名の應援團入城し咸興、大邱、三菱何れも多數の應援團に擁せられてゐることゝて京城は全くボールファンの巷と化しどこもかしこもこの噂で持ち切つてゐる殊に軍隊の野球觀見物は例のないとゝて、いかに今回の爭霸戰が興味と感激をもたれてゐるかゞわかる

光景は全部活動寫眞に

朝鮮キネマから 技師を特派する

爭霸戰當日は朝鮮キネマプロダクションから優秀なる技師數名を特派して卅余臺の自動車行進から入場式祝賀飛行放鳩式を初め第三日の優勝戰、優勝旗授與式に至るまで細大洩らさず活動寫眞に撮影して直に全鮮にわたつて映寫して見られぬ百萬のボールファンのために資するはずである



野球大會畫報

（上）各方面へ速報の爲め京城運動場に新設された自働電話
（中）本町通り入口の野球大會アーチ
（下）市內各所に特設した速報板

東京高師劍道部

九月三日東京高等師範學校劍道部佐藤教授以下十七名は鮮滿劍道行脚の爲京城に來り同日午後一時から警

朝鮮神宮の天長節祭

一般に參列が出來る

來たる三十一日は聖上陛下第四十七回御誕辰を迎へさせられる天長節で朝鮮神宮では當日午前九時中祭として天長節祭を執行はれるが例により相當の服裝のものは誰でも參列が出來る參列者は午前八時四十分までに參集し受付に名刺を差出されたいと

原田組零敗す

日佛デ盃戰

【フオレストヒル廿七日發電】日佛デビスカツプ庭球ウンターゾーン決勝戰で日本の俵原田組は佛國西のコシエー、ブリュニオン組に左のスコアで破れた右にて佛國西二勝日本一勝となつた

コシエー、ブリユニオン 六－一、六－〇、六－二 原田、俵

察官講習所で在京城の紳士と鍛道試合を行ふはず

殖銀から七千圓詐取

借金を支拂つて高飛びする處を捕はる

去る八月廿日高陽郡龍江面東幕上里二八四富樫閑治氏方の客寓金庫にあつた一萬七千六百圓記入の殖産銀行預金通帳を何物かに盜取せられゐることを發見し龍山署に急報したので同署では直に司法係全員出動して搜査したところ同日午前中に殖銀本店から同通帳で七千四百圓を引出したものがあると判明し龍山署は直に各列車自動車等を警戒し犯人の高飛を防止し一方探て同家に出入して慶氏の厚遇を受けてゐる義州通一ノ一五九元熙事崔泳哲（三〇）に目星をつけ同人がそれ以來姿を見せぬので嚴探中同人の妻二人および彼れと關係のある昭洞八二同法代書人申泰健方とに張込み中廿八日午前五時頃花山刑事部長、田形刑事のため申泰健方に入らんとするところを逮捕し、取調べの結果全部自白したが同人は十九日夜通帳を窃取し廿日殖銀本店で七千圓を引出し更に七百圓を借方へ二千圓で借金を拂ひ洋服金時計などを求め高飛せんと移事を中に依賴せんと立寄るところであつたがなほ現金四千圓ばかりあつた

憲兵が漢江へ賊を追込む

米田知事の名刺を持つ 前科六犯の曲者

龍山憲兵分隊では前科六犯の竊盜犯人を逮捕目下取調べ中であるが右は江原道生まれ府內光化門通り林春明方金明漢（三〇）といふ男で去る廿三日午前十一時頃龍山漢江通り騎兵隊附石端教師の留守宅に至り物盜中山崎清光といふ出入の呉服屋が來て同人の行動を怪しみ誰何したるに米田甚太郎といふ京畿道知事と同名の名刺を出し自分はこの家の使用人だといつてゐたが遂にバケの皮が現れ附近の者や演習中の軍人憲兵などが黑山の如くになつて追跡し漢江の水溜りへ追込んで逮捕したものであるなほ同人は前科六犯を有し本年二月出獄したばかりの男であると

南千住大火

百餘戸全燒

【東京電報】廿七日午後一時廿分東京府下南千住三輪新開地二八六松田銅造所家乾物店裏手二階建より發火し折柄の西北風にあふられ附近一圓をなめ全燒百十余戸を出して午後三時廿分鎭火した、損害二十余萬圓の見込

史蹟研究の實地講習會

朝鮮教育會では近く各道知事より推薦による中等學校史學科擔當教員約卅名に對し鮮內著名の史蹟を訪ねて實地につき朝鮮史の研究をなさしむべく史蹟現地講習會を開催すべく準備中なるが講師としては京城帝大教授および修史官に依囑すべく目下交渉中にてその講習場所は大體左の通り

平壤 九月下旬三日間
慶州 十月初旬三日間
扶餘 十月下旬二日間
開城 十一月初旬二日間

○廿七日午後十一時頃龍山漢江人道橋上を徘徊する美人があるのを龍山署員が發見取調べると府內三角町四六妓生萬彩鸞（二三）で自殺の目的で家出したと判明

○米國レイモンドウイツト社主催の世界一周團は十一月廿八日カリシヤ號で仁川入港自動車と入京で京城見物をする

○去る十七日朝鮮より上京せる朴烈の兄朴庭植は朴烈との面會も遂に空しく金子文子の遺骨を携へ廿七日夜九時半東京驛發列車で歸國の途についた（東京電）

○七月中京城府內各郵便局所取扱ひにかゝる郵便貯金預り拂高は預入口數四萬二千八百六十七金額三十一萬三千九百九十四圓拂戾し口數一萬四千九百八十金額三十二萬四千七百卅三圓でこれを前年同期に比すれば預入は口數一割九分金額二分拂戾し口數二分何れも增加し拂戾し金額のみ七分一厘の減少

○廿七日午後十時半頃府內黃金町三丁目三九金玉明方裏門に生後五ヶ月位の鮮人女兒が遺棄してあつた

○府內並木町越後屋旅館に投宿中の紳士風の男は咸鏡南道新興郡役所に雇員として在職中郡守の公印を盜用し面經費組合、面の公金四百六十余圓を橫領し去る六月退職したものと判明新興署に送られた

○けふの納涼音樂會曲目（光化門）マーチ曲スミマルッチヤ將軍、舞踊曲ダイアローン、序樂ザムパ、カチリ曲學生歌、和曲黑髮、朝鮮雅樂、カポッチ曲說密樂、マーチ離那納の氷久

安東の水害危期を脫す

降雨さへなくば二三日中に平水に復す

【安東特電】安東縣における水害狀況は廿八日午前二時頃中江鎭方面の水量が押寄せる見込でいづれも警戒中であるが廿七日午後二時の鴨綠江の水位は廿尺五寸よりも少く十九尺五寸にて最危險時も危くのがれ一同ホツと一息したが、今後豪雨その後徐々減水しつゝあり廿八日朝八時十分十七尺三寸、六道溝方面は約一尺の減水したこの上降雨さへなくば二三日中には平水に下るであらうが、避難民は給料機關事と守備隊に收容中で鮮人八百七十一名と、六道溝居住の支那人卅四名は堤防上その他に約三千名で滿鐵側では引續きこれら避難民全部にたき出を配給してゐる

平北の水害 未だ減水せず

鴨綠江上流方面の水害情況には電信電話不通のため一切不明であつたが廿七日午後より各地の情報が一同線復舊ごとに到着してゐる、鴨綠江は廿七日に至るも更に減水の見込なく新義州をさかのぼる十里の地點楚山城より又一里の王江鎭の間は沿岸道路上六尺冠水し電信電話線流失し目下新義州よりプロペラー船に材料人夫を輸送復舊に着手し上流の碧潼江は增水廿三尺に達し各部落全部浸水沿岸の家屋流失おびたゞしく被害甚大にし

旅順のコレラ眞性と決す

廿七日發生した旅順營口大經王島のコレラは午後に至り眞性と決定したなほ當人は漁夫であつた旨警務局へ入電があつた

乘組員檢便

廿七日旅順に發生したコレラがチーフ系統にて關東廳にては同港及び天津線出船船の乘組員および乘客に對し檢便を行ふことゝなつたが廿八日營口をもこれに追加して同港線出船の乘組員乘客の檢便を行ふことゝなつた旨警務局へ通牒があつた

廢艦になつて浮ばれぬ嚴島

宮島に献納を申し出て 宮司から拒絶さる

【嚴島電報】飯野商事會社が拂下げを受けた日本三景艦の嚴島艦はすでに解體されたが日清戰役に活躍したるを記念すべく國民精神振興に資する爲同艦の大舵を嚴島神社に奉獻すべく菊池同神社宮司に交渉したところ日本の神社佛閣には昔の武器や日清日露の戰利品がいたる所奉納されてあるが恰も軍國主義の讚歎を表彰するの感がある殊に嚴島は外國人の來遊が多いため誤解を招きたくないから軍器武器の奉獻は受けないと拒絕したので會社でも恥をさらして居るな一昨年廢艦となつた安藝の錨も嚴名に因み再三交渉して無償拂下を受け同神社に奉獻せんとしたが拒絶され呉鎭港內に赤錆となつて今に至るまで放棄されて居る

修了證書授與

朝鮮水産會主催で去る十八日より京城漁學校において第三回全鮮漁業組合理事者講習會開催中の處廿七日終了したので同日鎭北九龍浦松井外卅三名に修了證書を授與し廿八日は京城ホテルで懇親會を開いた

今秋の體育デーは一ヶ月繰上げ

十月一日から三日間開催

京城府主催の今秋の體育デーは十一月三日を一ヶ月繰上げ十月一日より三日間京城運動場において開催されるが右について京城府では廿八日午前十一時から學務課で協議會を開催した、體育協會より松岡氏、內務局より渡邊保主任、學務課長等出席したが體育協會は三日間にわたつて行はる各種競技の審判その他の事務に當り內務係では聯合靑年團、少年團、各種團體との交渉連絡に當り學務課では專ら各種學校との交渉連絡に當るはずである

ケ氏暗殺首魁死刑

【サロニカ廿七日發電】トルコ大統領ケルマパシャ氏暗殺陰謀の首魁者四名は廿六日夜アンブラで死刑に處せられた

桑布無着陸飛行墜落

ロ中佐死亡

【ワシントン廿七日發電】桑港ハワイ間無着陸飛行の勇士ローヂアース中佐は飛行中デラウエア河に墜落し重傷を負ふたが間もなく死亡した

新廳舍で水道大會

ボツ／＼引越しする京城府

太平町の京城府廳新廳舍は內部の工事も着々進捗し一部分はすでに完成したので、京城府では外部との交渉が少い係からぼつ／＼引越をはじめることになり九月一日先づその皮切りに都市計畫係を移轉することになつた、落成式は豫定通り十月末日に擧行するのであるが、同月十一日から十六日まで六日間開催される全國上水道大會は新廳舍會議室を會場に當てることになつてゐるので、會議室は大會に間に合ふやうに完成するはずである

大分共進會 出品を勸誘

今秋大分縣聯合共進會主催で十月十三日から十九日まで大分市において各府縣共進會および展覽會を開催するので一般出品並に參觀の勸誘方を京城府へ依賴して來た出品希望者は府勸業係に至急申込まれたいと

一、會の種類全國農具共進會、大分縣副業共進會農會聯合展覽會全國副業品展覽會
二、開期十月十三日より十九日迄七日間
三、會場大分市縣立農事試驗場

清浦子入城は來月下旬

廿日入城は誤

清浦子爵一行の來鮮日取につき廿日夜入城としたは誤りにて同子爵一行の來城は來月下旬の豫定である、こゝに訂正す

產業文化博 朝鮮館新設

來秋九月十日より六十日間東京市上野公園不忍池畔において東京府主催產業文化博覽會が開催されるが同會には朝鮮館も特に設けられることになつてゐるので朝鮮館に出品すべき販賣品その他の詳細のことは京城府勸業係に照會されたしと

御見送御禮中上候
大正十五年八月二十八日
二宮德
同 園子

鮮滿對抗劍道試合 十月大連で

恒例の鮮滿對抗劍道試合は十月下旬大連で行ふことに決定全鮮から三十名の優秀な劍士を選拔派遣すべく目下詮衡中である

朝鮮神宮競技 參加者勸誘

朝鮮體育協會主催の第二回朝鮮神宮競技大會には京城府でも各方面から多數參加せしめる爲學校關係在鄉軍人、靑年團等諸團體に對し勸誘をすると

高山氏建碑相談

故高山孝行氏生前の友人等は廿八日午後二時商業會議所に集合故人の面影を永遠にしのぶ爲基金を集めて石碑を建立すべく相談會を開いた

明日（廿九日）

▲本社主催全鮮野球爭霸戰 午前九時京城運動場
▲日曜說教 日本メソヂスト教會午前十時と午後七時半白月牧師 日本基督教會午後八時半秋月致氏京城組合教會午前十時今村鞆氏
▲藝友俱樂部圖畫會 午前九時南山町美術俱樂部

重ねくの聖代の恨事

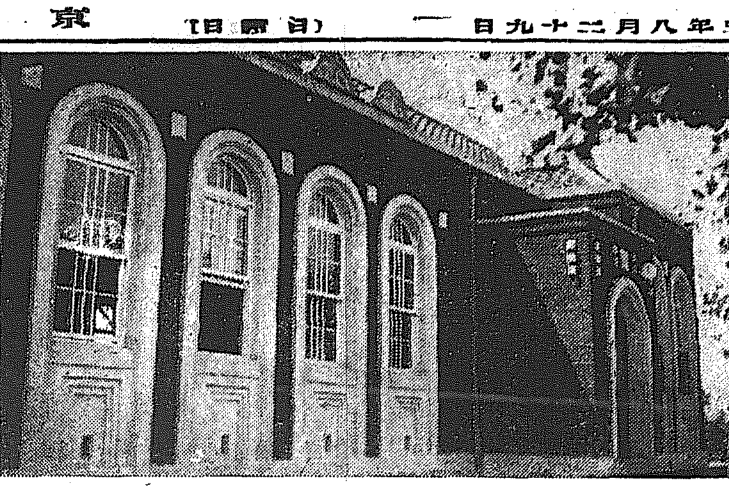
引責辭職などは

【東京電報】政友本黨の怪文書事件に對する態度は廿六日の幹部會で決定した通り本事件の眞相を更に徹事件以來の大逆事件であるにもかゝはらず江木法相が朴烈文子の兩名に減刑を奏請したことがすでて徹頭に堪へざる不祥事である、即ち、かつ事件は繼續しての出來事題となつてゐる怪寫眞問題はその…であるから今日までの事件の經過に徴すれば政府は當然その責任…のと思はれるが、萬一その責任…を解せず立憲政の徵に出ない場合は來議會において政府彈劾…「別個の理由の下に大に政府の失態」を問責するであら…

【東京電報】在野黨は朴烈文子の一から、在野黨から如何に攻擊する…怪寫眞問題につき種々論議してゐるが若槻首相は事件をさほど重…とものこの事件の爲に…れてゐる

新築落成した在郷軍人會館

【平壤】平壤在郷軍人會館は今春四月平壤府有志の寄附を以て平壤八千代町官有地百二十坪を無償にて借受け六千二百五十圓を投じて新築し七月二十日總工竣成し聯隊武德殿から全部引移つたが附屬建物は目下進工中で近く盛大なる落成式をあげるはずである



湖南線に一列車增發
十月一日から實施 寢臺車も聯結する

【大田電話】湖南線列車の時間改正或は增發についてはその必要を認め豫て鐵道當局において計畫を進めつゝあり道岡光永大田運輸事務所長はこれが打合せの爲め京城へ出張したが氏は語る『運轉時間の改正或は增發、隧線は鐵道としては最も重大なもので一朝一夕に輕々しく變更の出來るものではないが從來湖南線は再三改正の要望もあり鐵道局においても運輸時刻その他につき考究中であるが多分大田木浦間往復直通一列車を增發し一日四往復に變更される事になるであらう、一列車增發の爲めには湖南全線の時刻の改正を要しそれまでに相當の日數を要するので實施期は多分十月一日頃とならう、增發の列車は大田發午後二時木浦着九時十分木浦發午前十一時大田着午後六時頃の豫定で尚ほ現在の下り三〇一列車並に上り三〇四列車（多少時間の改正を行ふ）に寢臺車を連結する計畫もある』

李東雨君大氣焰
東亞民族會議は成功と語る

【釜山】長崎市において開かれた第一回の東亞民族會議に朝鮮を代表して出席した國民協會總務李東雨氏は昨大會終了後東京、名古屋、京阪神方面を視察し廿七日朝釜山に上陸南三日滯在の上歸城する豫定であるが氣焰當るべからず『來年は北京において開催さるゝことになつてゐるが、會期は未定で私は歸京後直に北京に赴きたいと思つてゐる、今回の會議は一部の非難は免れないとは思つてゐるけれども兎に角成功であつた』といつてゐる

京南線改修
十萬圓の豫算

【天安】京南鐵道成線の牙山温泉新芳面北水里並に鐵山新昌面元塘里の二ケ所は毎年水害を被り本年も線路の崩壞を見たので今回北水里に十本、元塘里に六本のガードを設け改修することに決定し鐵道局へ認可を申請した、豫算は約十萬圓である

貧苦の中で死んだ李氏
葬式も出せぬあはれさ

【全州】故前全北長官李斗璜氏は日本における維新當時の英傑ともいふべく日韓併合の恩人として内地知名の士とも親交深く德望家としても知られてゐたが同氏逝去後の遺子李範白氏は余り人にも知られず貧苦の中に家計を支へてゐたが去る廿四日四十六歳を一期として死去した、然し葬儀も出せぬ哀れな有樣に全北道當局では甚だ氣の毒といふので二十六日午後二時より各有志並に故人知己を道廳に呼び集め協議の結果知事をはじめ内地人七名朝鮮人八名の香典募集委員を擧げ取敢ず六百圓ほどの寄附を受けて葬儀をすませることにしたが、なほこの際京城その他各地の知己から應分の寄附を仰ぐとの事である、葬儀は二十八日執行された

注文とりと掛賣廢止
沙里院の雜貨商

【沙里院】雜貨商組合で協議の結果二十八日から一般に注文とりを廢して掛賣を禁じ總て現金賣買に改め經費節約をとる事にした

幸運の葉書

【長城】例の『幸福のために』の葉書は全南長城でも大流行で警察は取締に手古ずつてゐる

咸南の豪雨 六百戸に浸水
河川氾濫交通杜絶 珍らしい自動車の川流れ

【咸興】廿五日午後から降り出した、咸南一帶の豪雨は近來にない猛烈な雨勢で各河川は氾濫し交通運輸機關は杜絶し家屋の浸水も少くなかつた。廿七日朝までに判明した被害狀況は左の通りである。

咸興　雨量廿七日朝まで一三六ミリ、城川江は廿七日午前三時最高九尺の增水で廿七日朝は逆流の浸水六百戸におよび朝鐵咸南線は富民驛附近の線路破損し同日午前中不通。

鐵道聯絡自動車（咸南自動車部）の空車一輛は北青南大川通過中激流の押されて約六十間流された。咸南における自動車川流れのから矢。摩時嶺は崖崩れ二ケ所で再び交通杜絶、

長津　二十六日午前十時までの雨量三三ミリで長津江の增水十三尺に達し去る七月末竣工したばかりの長津橋流失、

其他の各地　豐山五三ミリ、三水六六ミリ、端川三五ミリ（何れも廿六日午前十時までの雨量）でなほ盛んに降りつゝあり農作物道路橋梁その他相當の被害ある見込との報告である

蟬が鳴くのに霜が降る
咸南豐山に

【咸興】海拔四千尺の咸南豐山邑附近は最近氣温俄に降下し廿四日早朝は早くも附近一帶に降霜があつた。但し霜量はごく少量で農作物に被害をおよぼす程度には至らなかつた。

永興　龍興江の氾濫甚だしく馬場驛との中間低地は線路上の浸水二尺に達し廿七日咸興發前六時、元山發前七時二十五分の列車は通過不能で引返した爲咸興發北行午前九時十分、同十一時五十分の兩列車は運轉を休止した。咸興午前十時の臨發行から強行通過。

北青　四九ミリ陽化端川間の

師團長の踏査

【天安】羽田第二十師團長は參謀將校等をしたがへ今秋の將校現地演習地たる天安牙山地方調査の爲二十七日天安經由温泉里温陽館に一泊二十八日牙山へ赴き二十九日朝天安へ引返し一泊歸任のはず

珠算優秀者
五種の記錄

總督府で開かれた珠算講習會で修了證書を手にしたものは八十六名であるがその中優秀者およびその速度は次ぎの通り

▲除算生（法五位實六位十三商一一分十四秒）藤山義照、山口顯貞、朴晋玉、森田明
▲乘算生（七位實六位――十二秒）神尾勇一、山口顯貞、黄尚來、孫機祉
▲寄算生（七位十五回――十二秒）孫機祉、朴晋玉、山口顯貞、菊地民雄
▲暗算生（三位十回――十二秒）孫機祉、朴晋玉、西岩軍、黄尚來
▲讀算生（六位二十回――三十五秒）山口顯貞、神尾勇一、朴仁緒、李昌純

生牛取引旺盛

【城津】當地よりの生牛移出もいよ／＼旺盛となり市場における取引も盛んに行はるゝに至り目下各市場共出場牛著しく增加し郡内第一の市場ある臨溟市場の如きは一回の出場牛三四百頭に達し約三割の賣買取引を見るに至り非常に活氣を呈して居る

馬賊ものがたり追記（上）
人質を攫く巧なカラクリ
うまい汁を吸ふ仲介人 討伐は申譯ばかり

香田君が九死に一生を得て助かつたに反して、搬澤君や警察所長等は氣の毒にもそれから約三十日の間官兵に追はれ／＼て奥地へと退く馬賊に引ずられ死よりもつらい運命に支配されてゐたが、一部馬賊の蹦跚からみやげ物としてつゝがなく歸る事が出來た。

◇　◇

元來馬賊の目的は殺人でなく又政治的色彩なども毫もなく十中の十まで生活のための擦蓄である、尤も中には不逞鮮人が獨立を標榜して強盗殺人を働く徒黨のある如く奉天省の政治に不平ありなぞと大きく出るのもあるが、誰し語ればつらい不逞鮮人が愚民を迷はす策略同樣一つの手段に過ぎぬのである、この馬賊が拉去した人質を如何にして處分するかはわれ／＼の疑問とする處だが、そこには外で味はふことの出來ない微妙な點があつて如何なる場合にも巧に掬かれて行く、例へば香田君等が遭難した際でも官兵に追はれつゝ晩々に片付て五萬圓を得たといふ。

◇　◇

滿洲には我國の封建時代のやうに敵味方の別なく敵意を挑れる人が澤山ゐる、いはゞ郷士とでもいつたもので官兵馬賊双方から認められこの物騒な社會に嚴正中立者として旨い汁にありついてゐる、これが聴ち人質を金に換へる仲介人なのである、馬賊が甲の村で人質を拉去し乙の村でこの種の者に擔き方を依頼すると、直にこの旨を官兵に報告して置いて甲の村の仲間に持込む、そして人質の救濟者に近づくといつた調子で富豪の人質となると澤山關係者が出來るから相當のブローカー料がかゝるが馬賊の方は巧に飛躍を晦ますことができる。

◇　◇

官兵側は仲介人から人質擄きの報告を受けてこれに對して何等制肘を加へずたゞ形式的の討伐をするに過ぎない、其處で馬賊は官兵に追はれ行く途中において巧に人質を擄き絶えず自分の縄張りを荒して廻る、されば官兵との間に默契された對敵といふものはない、尤も上司の嚴命で行はれる大討伐は別だが、普通の場合は偶然の機會で衝突し双方が故なく物別れするを原則としてゐる、要するに共に衝突を避けるのを戰法と心得てゐる次第だ。

◇　◇

（安東支局川村生）

取消

八日附本欄掲載の「太〇堀より内地移籍を先に」と題する記事は多少事實相違の點あり一先づ取消す

批難の多い釜山の「漫然係」
方針立て直しのため慶南道廳で評定

【釜山】釜山に於る鮮人勞働者の漫然内地渡航阻止が一部の誤解から批難が多く取締當局としても從來のように漫然阻止の方針を立て直す必要に鑑み二十七日午前十時から慶南道廳で高等警察課長、兵庫縣渡航係、日野道警察部長、松川釜山水上署長、長釜山府社會係その他取締關係者は遂に集合し渡航阻止の根本問題にさかのぼつて詳細打合せを遂げたが要するに渡航者阻止は漫然内地行の鮮人勞働者保護の下に行ふ大局的の方針に基づくものであつてその方法が從來いさゝか漫然阻止のそしりを免れない事情にあつたがゆゑにまづ差し當たり地方から渡航を企つる鮮人勞働者に向つて出郷の

足止め

をするが根本問題であるから漫然渡航阻止の宣傳ビラ五萬枚を配布し活動寫眞を地方部落民に映寫觀覽せしめてその間の事情を知らしめることおよび釜山で阻止した勞働者を積極的に保護する職業紹介の斡旋をする方針をたつるはずである

人命救助て知事から表彰

【釜山】姑との不和から去る七月二十一日夜釜山牧ノ島町下瀬中に投身自殺を企てた府内寶水町岸木セイ（こ）の人命救助を行つた府内居住の釣家識市、背山釜太郎外二氏に對し和田慶南道知事は金一封あてを贈つてその行爲を表彰したが背山氏は該金員を慈善事業方面に寄附方を警察署に依頼したと

披露演奏會

安東五絃琴の東鐵市場通の吉綱旭明師は過般來東上宗家旭絃について研究中の處今回歸城山號を授かり歸安したので近く披露大演奏會を催す由

家出女を凌辱
おまけに詐欺

【平壤】平壤府上里理髮職鄭科三郎崔學波（こ）は去る六月十二日夜江東郡江東面阿達里黄昌浩妻洪仁琲（こ）が夫婦喧嘩をして平壤に逃げ來たりミカド附近をうろつきゐるを見て甘言を以て誘拐自宅に連

貴金屬專門の旅館あらし
團長ほか一味十名 平壤署に捕はれる

【平壤】最近府内各旅館の屋根から侵入宿泊客の現金時計等の貴重品專門の窃盜事件が頻發するので平壤署刑事總がかりで捜査中であつたが去る二十四日午前三時頃府内上館里某旅館の板塀を飛び下りた三名の怪しき者を警戒中の刑事が發見格闘の末一名を逮捕し取調べた處右は住所不定前科一犯林極岩（こ）といふ者で部下十名を有する大窃盜團の團長なる事判明その後極力捜査の結果李奉天（こ）與斗鉉（こ）裵享楨（こ）外七名を二十六日までに逮捕し嚴重取調べ中であるが現在被害が自白したもののみでも八十數件價格二千圓に上つてゐるがなほ數千圓に上る見込であると

込み窃盜したる上下水口里の知人の家に『姉』と稱して預け關係を繼けてゐたが八月上旬大同郡大同江面西浦里金允榛（こ）から右『姉』を結婚させやるとて金六十圓の先借金をとり約束を實行しないので探つて見た處右の事情と判明今般金允榛は平壤署に詐欺の告訴を提起した

平壤遊廓に赤痢發生
患者は娼妓

【平壤】平壤の赤痢はその後益々蔓延しつゝあるが廿六日賑町文明樓抱娼妓福奴事河野きみよ（二〇）は赤痢と判明即時平壤避病院へ收容し嚴重消毒を行つた賑町遊廓は交通遮斷を命ぜられ同樓は五日間の交通遮斷を命ぜられたが、さらぬだに不況に陷つてゐた賑町遊廓は大恐慌を來たし全く火の消えたやうなさびしさを呈してゐる

七歳の少女に暴行

【平壤】大同郡古平面西城里寶龍內行商人安寶成（二五）は常に同家に遊びに來る同里成天龍四女（七）を廿五日正午頃同家のオンドルに引入れ四方を密閉し暴行を加へたゝめ少女は局部に負傷し人事不省に陷り目下道立病院にて加療中である

女房を斬る
嫉妬から兇行

【釜山】慶南道昌原郡下二面農村又傳（こ）は去る二十二日午後八時頃内妻金順福（二三）と口論の末ありあはせの包丁をふるつて瀕死の重傷を負はせて現場を逃走したが加害者は間もなく逮捕され被害者は生命危篤原因は金錢問題に情夫があるとの邪推から

指を切斷す
罷業中の職工

【平壤】平壤鐵工業者八戸は廿四日會合し市況の不況に鑑み職工賃金の値下げを協議し廿五日發表したので十六名の職工は結束し抵抗の爲組合を組織し同盟罷業を決行した廿七日職工中の金永鎭（二三）は自分が主人側から首謀者であるといはれたので失業を恐れその釋明をなさんとて食刀を以ておのれの左の食指を第二關節からブッツリと切斷してしまつたが臆病のいい小心者だと皆んなを呆れさせた

不義の子殺し
釜山署で檢擧

【釜山】慶南道金海郡金海邑内南内洞の要奉達伊（こ）は夫順伊が二年前から大阪地方に出稼ぎし不在中を奇貨に附近の張順用（こ）と通じてゐたが去る十七日夜女兒を分娩し處置をはて陰殺遺棄した事實を所轄署に探知され目下取調べ中であるが該伊には現在六歳の子供までありその養育に困つてゐたものらしいと

元の獨立團員
郷里で捕はる

【平壤】大正八年より驪將綠總の龍翼團に入團し同團が滅亡後は光復團員に加はり前後六年間六道諸縣を根據として時局報告を行つてゐた平安南道江西郡城州里の鄭國伊（こ）は良民を裝つて十五年前北滿洲密州馬頭鐵の密宅の實家へ立戾つてゐた處を發見されて二十二日平壤署に逮捕されるに至つた

機關庫燒く

【平壤】廿三日午後十一時頃大同郡大寶面慶仁里三菱大寶炭坑機關庫より出火したが居合せた坑員百五十名が驅つけ消火に努めた結果翌日午前一時半分同庫一棟を全燒したのみで鎭火した、原因は機關車格納後油布の不始末からで損害約七千圓人畜に死傷はない

農村青年講習會

【沙里院】郡農會では農家の優良なる成績で普通校を出て實際家業に從事する農家青年の穩健なる農業思想を鼓吹せんとする目的の下に本年夏季休暇を利用し道内三ケ所（海州、黄州、沙里院）で農村青年講習會を開催する事となり沙里院では二十一日から三十名の青年を集めて二十七日までこれを開催した因に講師は野村沙里院農學校長であつた

面事務の研究會

官川郡においては今回面事務の刷新および能率增進をはかる目的を以て毎土曜日に事務研究會を開く事にし二十六日に面長會議を開催し納税の奬勵勤儉貯蓄の實行その他衛生思想の喚起道路修繕等について協議する處があつた

石本部長初巡視

【浦項】慶北警察部長石本鑒氏は廿五日午前九時自動車にて來浦、浦項警察署に於て官民有志の出迎へを受け署長より管内一般狀況を聞き警察官の檢閲、柔劍道その他の機關を行ひ同夜料理屋において官民の歡迎會に臨み翌二十六日午後八時盈德へ向け出發した

老童の野球試合
元山から咸興へいどむ 乘氣になつた內務部長

【咸興】『碁いものばかりの惡石ら各學校、官衙、銀行、會社を網羅すれば多士濟々たるもので一寸ひろひ上げただけでも病院の永井さん、女學校の大觀さん、銀行の武智さん、富豪の設樂さん、二等の田村さん、市中では鳥野さん、永島さん等……直に現役選手に負ける物ちやありませい。お爺ひも年ことを取つたれ、冠氣は昔の十八時代に劣りはない…もりと非オールドボイスの威嚴を揮り野球試合をやらうぢやありませんか……』との飛込んだので『スポンジ傾なら……』と柔弱內務部長乘氣になつて御座る。然し年齡は五十とあるから爺のチームができさうだ。フレー／＼！咸興？

第十一回優勝旗爭奪 南鮮庭球大會

▼日時　八月卅一日午前八時
▼會場　大田大町三庭球協會コート
▼會費　一人金一圓（但晝食）
主催　京城日報大田支局
後援　大田庭球協會

北鮮視察團

【羅南】羅北教育會主催の北鮮産業視察團一行十四名は羅南方面の視察を終へ廿四日再び城津着清津府廳、府營屠畜場、清津紡績所、府勸業所等を視察し一行は清津の地方視察中の處二十五日府内第一の市場たる臨溟に赴き生牛取引狀況を視察の上引返し午後五時乘船元山に向つた

長城武道大會

【全南長城】長城の土用武道稽古は二十三日終了をつげ同日午前九時より長城公立普通學校内において武道大會を開催したが光州、羅州、靈光、潭陽各地より有段者多數參加し柔劍道の普通試合並に高段試合を行ひ午後四時半終了入賞者に對して賞品の授與があつた

瑞興より

◇久方振りで瑞興を訪づれると各方面の移動で新空氣が漲ふて居た先づ法院の瑞興支廳では今回檢事の中村尙久（十二年帝大出身）氏の著任を見判事の松永龜齡（十一年帝大出身）氏と共に法曹の若手揃ひを迎へて廳内の空氣を一變し頗る揚々たるものがあつた

◇更に山田監督書記は今回辭職すると同時に五郡の執達吏に早變りし右の椅子は載寧支廳の監督書記である遠藤重四郎氏が襲ふ事になつた、

◇次には温厚な刑務所長水町さんが金山浦へ榮轉し後任には大田より松井石大郎氏が著任して此所にも新空氣が流れて居た

◇話は變るが公醫の齋藤氏宅のラジオが相變らずの人氣を呼んで居ると同時に今回勸農會社の酒井氏が又新たにアンテナを張つて研究中である……との事であるが中々聞に逃けない好い成績を見せてゐた（附川）

長壽山探勝記（3）
米倉生

儀川温泉の湧出量は東萊や海雲臺より遙に多い、一日五千石といふことはその昔約四百年前起をいためた一羽の鶴がいつもこの邊に來て休んでゐたのを不思議に思つてそこを掘つて見ると温泉が湧き出したのがその起源であるといふ現在の北面浴場の温泉がそれである、設備になつたのは大正十年から試錐によつて續々湧出するやうになつたからで、今では部落内で三十余孔、その内浴用十六井、内地人の經營者も多く移住してかくゆたかな温泉場となつたのである。試みに湧出する井戸の中へ手をやつて見る、とても熱い。頭など湯帽にして鐵管を通して浴場に入れるがそれでもなほ熱い位だ。この邊、安岳、温井院、馬山、松禾、温井洞、達泉、三泉がありそれ／＼特徴を持つてゐるが最も便利でありたゞの保養の爲ばかりでなく一つの遊園地としてまづ指を屈に折る者が多い

◇

遙く長壽山を望み青々とした稻田を掠めるそよ吹く風に涼を入れつゝ二階にやすむ、實によい氣持ちだ。京城から僅十一時間かやうな極樂郷のあることを多くは知らないであらう。汽車の便は平壤に出るきを除き京城からは連絡時間が惡い、この點については鐵道局でも既分考慮してゐるやうである。雜踏の人士の選ぶのも遠き日ではあるまい。温泉へついたときもまだ降つてゐた雨は上つた、雲間から太陽の光りがさすそれでも熱足は繼かでないがしばしの晴れ間を浴衣着の一行は部落を散策する。温泉宿の白壁がある、朝鮮人經營の旅舍がある、バラックの料理屋がある誰やら氣の早い連中は怪げな女と會話を交してゐる。それをソッとカメラにおさめる記者は仲々大忙だ』

富森女史講演

滿鐵社會課の招聘で滿洲各地に講演をなしつゝある富森松枝女史は廿七日安東公會堂に於て『婦人と社會』と題し二時間に亘る有益な講演をなした、傍聽の男女二百餘名盛んであつた

『營口通信』

◇魚類野菜輸入禁止　虎疫蔓延の恐れあるを以て二十六日以後支那管内より新市街へ生魚貝類、野菜、果物の搬入を禁止し尚關東州及沿線への輸送を禁止した尤も健康地より當地への輸送は差支ない

◇秋季運動會　營口滿鐵運動會支部は九月秋季運動會を市民と聯合して開催するため各方面の有志を招請し協議會を開く

◇夏季大學講演　當地に於る夏季大學は文學博士田中寬一氏の『心理學者の見たる日本民族』と題する講演で二十五二十六の兩夜公會堂で開催、二百餘名の聽講者あり非常に盛會を極めた、

地方人事

▲金藤山氏（梵魚寺住職）二十七日新任挨拶の爲慶南道廳訪問
▲李東雨氏（國民協會總務）二十七日釜山上陸南三日滯在
▲海田千代松氏（株式會社松木組專務）廿四日城津着翌日元山に向つた
▲里吉基樹氏（朝鮮公論外交部長）廿七日城津着

僅か五分間で頭痛が治る
清腦新劑
チエヤー
頓服只一回で
忽ち！
頭腦明快！
能率增進！
腦病者。神經衰弱ヒステリー！
子宮病者。常習便秘家の
常備藥
汽車汽船に乘る時。人込の場所。
酒宴の席に臨む時の
必携藥
本舗 大連 合資會社 松内楠陽堂
全國有名藥舖ニアリ

阿旦城趾考（一）

松島惇

阿旦城は百濟の歴史を顧みる上において最も大切な城である。百濟二十代の蓋鹵王が即位廿一年（今をさること一四五一年前）の秋高句麗長壽王のため王都漢城（廣州）を包圍され遂に捕はれ成川の阿旦城下にて殺されたのである。即ち王の殺害された所であるばかりでなく、三國時代における最も要衝の地であるのであるが、未だいづれの地點になるや判然と調査したものがない様である。

私は文獻上よりして阿旦城が何れの地點であるかを推定しようと思ふ。三國史記卷三十四、百濟八代責稽王元年（今を去ること一六三一年前）の條に

高句麗帶方ヲ伐ツ。帶方救ヲ我ニ請フ。コレヨリ先王帶方王ノ女寶菓ヲ娶テ夫人ト爲ス故ニイハク。帶方ハ我舅甥ノ國。ソノ請ニ副ハザルベカラズト。遂ニ師ヲ出シテコレヲ救フ。高句麗怨ム。ソノ侵寇ヲ慮リ。阿旦城蛇城ヲ修シテコレニ備フ。

これは阿旦城のことを記載した一番最初の文獻である。當時百濟の都城は廣州南漢山北麓古邑村附近であつた。城は漢山城の北側で、百濟と高句麗との通路たる要衝の地に築城したものであらねばならぬ。次ぎに支那輯安縣東崗大碑街に高句麗十九代廣開土王陵の碑（今を去ること一五一三年前）がある、この碑は通例これを好太王の碑と稱して朝鮮歴史上大切な史料である、この碑文に左の如く記載されてある。

大王丙申ヲ以テ王躬ラ水軍ヲ率ヒテ利殘國ヲウツ。軍□□首攻取トシテ一八城。臼模盧城。（中略）阿旦城ヲ攻取ス。賊氣ヲ服セズ。敢テ出テ百戰セズ。王威力ニ怒シ。阿利水ヲ渡リ。刺ヲヤリ城ヲ迫ル。

右の碑文によれば、廣開土王が阿旦城を陥れて後に、阿利水（漢水即ち漢江）を渡つて居るから、阿旦城は漢山の北側であることは明かである。又三國史記卷第四十五、列傳第五温達の條末尾に、

平岡王位ニ即クニ及ムデ温達奏シテ曰ク惟フニ新羅我漢北ノ地ヲ割キ郡縣トナス百姓痛恨シ未ダ曾ツテ父母ノ國ヲ忘レズ願クハ大王愚不肖ヲ以テセズ之ニ授クル兵ヲ以テセヨ。一タビ往キテ必ズ我地ヲ還サン王許ス行ニ臨ミ誓テ曰ク鷄立峴竹嶺以西我ニ歸セズンバ即チ返ラザルナリ遂ニ行ク新羅軍ト阿旦城ノ下ニ戰フ流矢ノ中ツル處ト爲テ死ス

とある文中平岡王は高句麗二十五代平原王（平原王の即位は新羅眞興王の三十年にして今をさること一三二八年前）である。當時新羅は英邁なる眞興王の時で南漢山および北漢山附近は、すでに新羅の領域となつたのである。温達は新羅が漢山の北側の地を斷つて、略取したのを非常に憤慨しこれを奪還せんとして、遂に新羅の軍と阿旦城下に戰つたのである即ち阿旦城の所在地は、右の文意より考察するに、漢山の北側であることは明かである。

以上擧げた文獻により、阿旦城は何れも漢江の北側で、かつ高句麗と百濟の王都漢城との通路であることが證據立てられたのである然らば阿旦城趾は何れの地點であらうか。

青島へ（二）

京城高商　西島東生

アスファルトの鋪い規則正な街路、新綠のしたゝる街木、美しく調和した赤い屋根に雪色の壁色、まるで、エデンの園もかくばかりと思はれるばかり。かうして夢の園を逍ふやうな心持して、あるいてゐると、所々に立つてゐる元氣のなさそうな、丁度ビールの氣の抜けたやうな顏をしてボンヤリ立つてゐる支那巡査を見ると一時にゲッソリとして夢は打破られてしまふ。支那巡査ほどたよりにならぬものはなく、この地に住んでゐる邦人は還附前と比較して今の巡査は物騒だとこぼしてゐるこの巡査夜はおの〱鐵砲を持つてその端きに銃つけをしてゐるなんか仲々以て念入りだ、斯うまでしないと威力が出ないさうだ。尤も三ヶ月も巡査の月俸不拂ひといふことが時々あるそうだから支那巡査ならずとも元氣の出ないのは當然かも知れぬ。

青島には邦人は約二萬四、五千人位居住してゐるらしい、還附以前は三萬人以上だつたそうだが今では大層へつてゐる、然しこれは戰人軍團およびその家族が主として減少したので、商人その他の者は依然居を構へてゐる、町は日本人の商店が大部を占めてその間に支那人も相當居る、以前新町といふてゐた今の山東路は路幅は一番廣く銀行會社のおもなるものはこの通りにあり、三井、鈴木、朝鮮銀行、正金、正隆銀行も夫々堂々たる看板振らしい。山東路を一直線に進むと海岸通りに出る、この通りに日本總領事館を始め米國領事館もあり、グランドホテルも立ちならんで海風を受けて場所は最もよい所。日本領事館の直前に小島があり燈臺がある。元來これを青島といふのでこの島ゆゑにこの灣が青島灣と呼ばれてゐたのであつた。

しかし今は陸の方が青島となつて小島の名はアルコナとかはつてしまつた、

このあたりこそ以前は青島の心臓ともいふべき樞要な所で東京ならば日比谷門外と日本橋通りを兼ねたやうな所である

時は大正三年日獨の風雲急にして遂に火蓋はこの地膠州灣において切られたのであつた。毛唐の如何にして、日本男子に敵すべき。」

遂にドイツ帝國が一兵にもぬらずして占領強奪してより十八年目のしかも同じ月たる大正三年十一月十六日午前十時。勝ち誇りし神尾將軍の率ゆる我攻圍軍の入城式は今自分の立つて居るこの地點で行はれたのだ、思ふて見るだに肉は躍り血は高鳴る、今目前の鐵館の屋根に飜つて居る日章旗に自分が對してゐる如くその時巍然として聳え立つ青島政廳の屋根に掲げられた日章旗と相對峙してアルコナ島を背にして馬上ゆたかなる神尾將軍ハ颯爽たる英姿。步武堂々と進む無敵雄師の雄姿思ひやるだに勇き血潮は逆まく

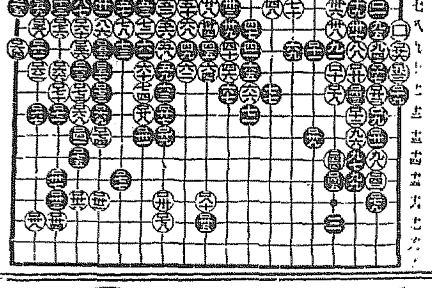
あゝその苦心も今ははかない一抹の泡。これを無條件で還附さる一たびこの地點に立つて當時を想ふ時誰か還附するを好む者が居やうか、

今日は丁度明治天皇祭だ自分がこの祝日にこゝに當時を回想するもゆゑなきでであるまい。

七月卅一日今日領事館に行く領事館も休日だからあすでもまた來る事として一まづ引返して歸る事は不在で庶務課長に面會して青島狀況も聞く

圍碁新局（九）

先相先番　（三段）谷木小野寺 賀新人（三段）



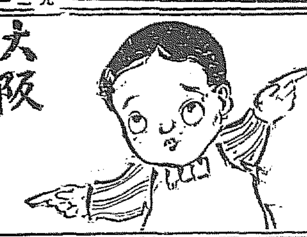
そ九　つ七　よ十二　よ十一　か十五

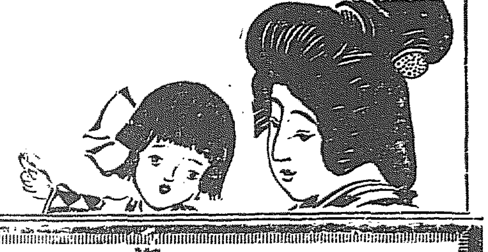
そ十　れ十　れ十一　よ十三　を十七

た十　そ十二　れ十二　た十三　ろ十六

つ九　た十二　た十一　れ九　ぬ十六

白曰く　百六八たノ十二は少し躓つて居ることで、すから先手を取つて下邊の白石を早く治るために打ちました此の際の戰はいいかげんな別れでせう





品質優良　耐久強靱

吉のわた

大阪　吉製造元

最上醬油

鎭南浦　合資會社　柳原釀造所　電話一四三番

荒井牛乳

販賣所　漢江通一一　電話龍山七三一番　若草町一〇六　電話本局一〇〇四番

農家の福音

專賣特許第四一八號　肥料酸酵素【こやしのもと】定價低廉

防臭殺蟲　殺菌肥効　振農防臭劑　流行病の折は好適の殺菌劑

福岡縣山門郡城内村鬼童町橋側　特約販賣所　井手篤行　電話柳河局一二二番

定價表、使用法、説明書御請求次第無代進呈

三伏の候　海へ？　松籟の元 納涼の一杯　家に？　御晩餐の元 心頭滅却の一杯

高級銘酒　朝の花

朝鮮酒造株式會社

げに香心地の良い

京城南大門通二丁目朝鮮殖産銀行横（朝鮮總督府圖書館門前）

上野醫院　内科 小兒科　院主　上野和夫　電話本局二五五番

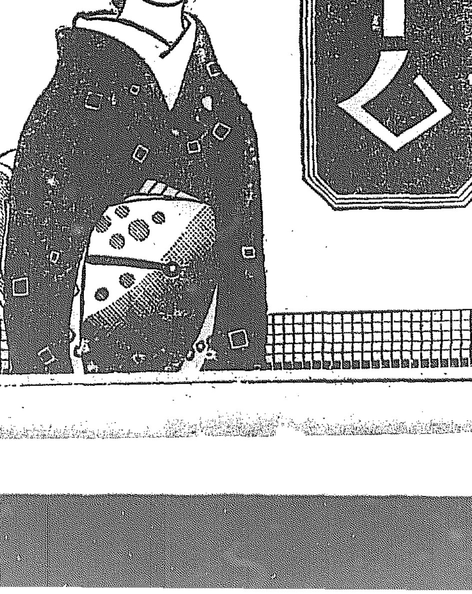
京城永樂町二丁目　西本願寺別院裏門通　入院隨意　酒井婦人病院　酒井一郎　電話一八番

京城府練兵町六五　龍山八二四番　内科 外科 皮膚科 レントゲン科　泳仁醫院　京城レントゲン診療院（入院隨意）　院長　平馬左橘

一番よくきく　日ヤケ止は　クラブ洗粉本店謹製の　美身クラブクリーム

此のクラブ美身クリームは素顏の美を増し白粉の附を良くする品質第一のアレ、日ヤケ止にして畏くも　皇后宮職御用品　たるの光榮を辱うしつゝあり……

優良な技師に依て作られた優良な品



好く溶けながら溶け過ぎぬ

○ミツワ石鹸

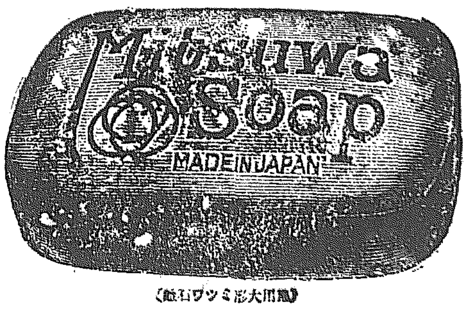
最もお徳用

水にさへ忽ちクリーム狀の泡を豐かに立てながら、然も決して溶過ぎません。況して、中途に溶崩れる等の憂ひは絶對に無く、其使心地の爽かさは他に比ぶべき物がありません。卽ち、其効果は卓絶にして、而も一回の消費量は極めて小量にて足るのですから

「結局一番お徳用。」

御注意！　○ミツワ石鹸を原價以下に濫賣して、之を客引策とする販賣店ある由なれど、然も其不當の廉賣は、却つて其店の他の賣品がそれ丈高く成つて居る事を示す樣なものでは無いでせうか？

不斷の研究向上の爲、日夜科學的研究に沒頭しつゝある主要なる技術陣　藥學博士 小平勘氏　農學士 岡村正雄氏　工學士 三國次郎氏　工學士 野中正夫氏



（徳用大形ミツワ石鹸）

本舗　東京　丸見屋商店

露國領事館のイワノフさん

赤旗館に咲く 花のほゝゑみ
美しいイワノフさんが 京城の秋の新婚生活

貞洞の小高い丘上の白堊館ロシヤ領事館に赤い旗がひるがへるやうになつて一年、昨冬からこの館内に美しいロシヤ婦人が現れた領事館に出入するものは好奇の眼をそゝいでゐたが、彼女はイワノフさん(二〇)といひ滯京同領事館附書記生ギヨルゲ氏と目出度

結婚式 をあげた佳人であるシヤルマーノフ領事も大よろこび、ロシヤ領事館でにぎやかな話題を作つてゐる、イワノフさんは西露ウリヤンスカヤ女學校を卒へると、タイピストとなつて領事モスクヴア市のある大官邸にその姿を通はせてみたが、昨冬シヤルマーノフ領事を頼つてはる／＼と憧れの南國の郷京城に來た、秘書役をかね、異郷にやるせない思ひをこめて白魚のやうな指にタイプライターに

火花を ちらし[illegible]の書類をかたづけてゐる、イワノフさんは「なんとかして、日本の職業婦人達と仲のよいお友達になりたいものですね」と記者に語つたほどにさびしい生活のうちにギヨルゲ氏と相許す仲となり領事が出雲の神をつとめてロシヤ領事館の一輪花イワノフさんはコスモスの花にほゝゑむ人となつたのである、「私、京城が益々

好きに なりました」とイワノフさんは白い齒並を見せて朝鮮の秋を樂んでゐる。

京日童話 それから (九)
山本雅樹作

「どうもこれつぽちではしやうがないな、何でも金目のものならばかまはぬ、袋が一杯になるまでもつて來い」

強力の鼻息はます／＼荒い。

これを見て甲太郎はニコ／＼してゐますが、王樣は悲さうにしてゐます。

王樣の家來が、大勢で、「エンヤラ／＼エンヤラホイ、エンヤラ／＼エンヤラホイ」と次ぎから次ぎに、はこんで來るいろ／＼の寶物を強力の男は手あたりしだい袋の中へポン／＼投げ込みました。そしてたうとう國中の寶物をすつかりまきあげてしまひました。

「よし、よし、あらかたほふり込んでしまつたやうだ。とゝらでゆるしてやらう」

甲太郎はいひました。

「えゝ、袋はまだいつぱいにはなりませんが、これ位の方がかへつてくゝるのに都合がいゝですよ」

さういつて強力は袋の口をすぼめてしつかりとゆはえるのでありました。袋の口をむすんでしまふと強力は、

「うんとこせッ」

といひながら、大きな／＼寶物の一杯はいつた袋をかたにかつぎ、

「おつとつとつと……これや少しばかり重いぞ」

よろめきながら足をふみしめていひました。

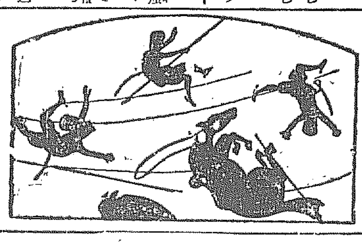
甲太郎はじめ、六人のものは寶物の袋をかついだ強力を中にして勝ちほこつたやうに、歸つてゆきました。

王樣は、僅か六人連の旅人に國中の寶物をみんなもつて行かれたので、くやしくて／＼たまりません何とかして取かへしたいものだと王樣自慢のコザックの騎兵隊に命令して、六人を追はせました。

「どんなことがあつてもあの寶物をとりかへして來い。打ち殺してもかまはぬ」

王樣の命令でかけ出した騎兵隊は、國境近くで漸く六人に追ひつきました。そして、

「やあ／＼逃げ行くもの共よッく聞けッ、われこそは世界に名高きコザック兵なるぞ、命が惜くばその袋戻せ、イザ返せッ」



と大聲に呼ばはりました。

すると、鼻息の強い男が振返り、

「俺をつべこべぬかすサア野郎共ッ俺の鼻息がうけられるものならうけて見ろ」

といつて、片ッ方のあなをおさへて片ッ方のあなからブーッと息を吹き出しました。すると騎兵隊の兵士は馬もろとも雲高く吹きとばされ、野こえ山こえ谷こえて、たうとう王樣の御殿へ吹き戻されてしまひました。

これにはさすがの王樣もかぶとをぬいで

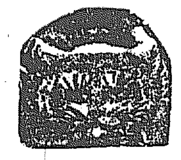
「ア、仕方がない、さはらぬ神にたゝりなしだ、あんな恐ろしい奴にかゝりあひになつたのは自分が悪いのぢやつた」

といひました。

一方、自分の望みを達した甲太郎は分どつた寶物をそれからどうしたと思ひます？この先は皆さんがご自分で考へて見て下さい(完)

野菜の消毒

クロールカルキ即ち晒粉を一匁、水一斗にとかす。消毒に用ふる桶はあらかじめ水一斗位入るものを定めておく。それに野菜を求めたらすぐ入れて、二時間以上つけておく。これで安全である。取出した野菜は、水洗して用ひる

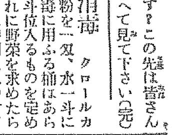


佐賀の猫 【146】
南海夢樂作　石井滴水畫

玉を抱ひて罪

嘉助が構はず差出した手紙、小島は不審に思つたから躊躇して居ると、嘉『へえ、これは貴方樣にお手渡しをしてくれとたゞ今頼まれて參つたのでございます。中を御覽くだされば判りますから、えゝ、その、何でございます、御返事がございますなれば、明日の今頃龍尾明神の鳥居の處へ私が參つてをりますからそこでお返事を頂戴いたします』彌『ハテナ、拙者に手紙を……どなたからのお手紙か』嘉『ですから御覽になれば判りますのでへえ、左樣なら……』彌『これ／＼待て、誰の文だか知れんものを、無やみに渡して行く奴があるか』嘉『そんな事をおつしやいませんで、まア御返事は明日頂戴いたします』と嘉助は彌十に構はずさつさといつて仕舞つた彌『變な野郎だ』といひながら、手に取つて手紙の表を見るとあて名が小村彌十郎樣【裏を返しても差出人が判らない、彌『はアこ奴ア失策た、小の字はつくに相違ないが、拙者は小島彌十だ、ハヽア、紋所が同じだから、下郎奴、間違へたナ……何うも仕方がない、この手紙を小村に渡してやらう』一足二足戻りかけてフト氣がつき、彌『待て／＼、見れば確に女の手蹟だ、これには何か譯がありさうだから、一つ開いて見やうかナ…』余り正直な男ではないと見えフト手紙をあけて見る氣になつたそのまゝ己の部屋へ取つて返し、密かに封押切つて讀み下すと中になまめかしい口說の末に、是非一度の逢瀬を頼み參らする、このまゝお返事がございませんければ、妾は焦がれて死にまするといふ騒ぎ、焦がるゝ吉野よりと認してあるから彌十があきれ返り、彌『おや／＼こ奴は何うも凄い事になつたぞ、イヤ何うも小村の奴、飛んだ色男になりをつた、しかしこんな手紙が我手に入つたのは、何か因緣があるらしい氣がする、この手紙を小村に渡して、戀の取持をするのも智恵のない話だ、それにあの吉野は家中一等の美人だから、あの女に思ひを掛てをる者もすくなくない、高が城下の植木屋文助の娘、權藤家にゐせよ士分のわれ等が、おもひをかけて詰はしたら、第一兩親の幸福にもなると申すもの、こちらが岡ぶと構へたなれば、小村に鞘返りを打つて他が女房になる、イヤ、これは面白い芝居になつて來た、こりや拙者から返事をやつて、或る所まで引出した上、臨身につけ込んで口說いてやらう』とひどい男もあればあるもの、小村の手蹟は豫て存じてをりますから、よく筆を似せてよい加減な返事を認める、翌日の四つ時に龍尾明神の鳥居際に立つてをると、のこのこやつて來たのが仲間の嘉助だ、嘉『これは旦那樣、お早うございました、何うぞきのふのお返事を頂戴いたしたいのでございます』彌『おゝ、よく來て異た然らばこれを渡して貰ひたい、小村がくれ／＼もよろしく申したとナ』嘉『へえ／＼承知をいたしました、吉野樣にもさぞお喜びでございませう』彌『待て／＼、これは些少だがその方に遣はす』嘉『こりや何うも有難う存じます、左樣なら、又お手紙がございましたら、持參いたします』小島からも駄賃を貰つて立歸る、そこで件の返事を吉野に渡すと、幼なき氣に入るやうな文句が並べてあるのだから、人戀ひとは夢にも知らない吉野、僞を小村から來た返事と思ひ込み、天へも登る心地をして、早速又返事を書認め、嘉『嘉助や、もう一度頼みます、これは誠に少いが一口……』嘉『へゝゝ左樣でございますか、毎度何うも有難うございます』直に飛び出し、彌十に手紙を渡す、そのまた返事は明神の鳥居際で嘉助に頼む、何方へ行つても少しづゝ駄賃が貰へるので、嘉助は旨い商賣が飲めるから大喜びだ、この戀も長かれと祈つて居るのも道理、する時の手紙に、たゞお手紙ばかりでと待ち切れなくなつた吉野が、或はしみ／＼とお物語りをいたしたいけれど、詰めする身の自由にならず、何とかいゝ工夫はございますまいかとの相談、彌十から早速に同感である、然らば母の墓參りと申し立てゝ、四月七日駕籠に乘り城下の下河原にある料理店俵屋といふ家へ來て貰ひたい、拙者が先に行つて待つて居るから……かういふ相談が成立ちました、今日は五日だからあと二日、まア吉野は待遠くて堪りません、一日千秋の思ひで待つ内に、六日を經して七日となる、朝から母の墓參りといつてお暇を頂いてある事故、朝から髮を結はせてめかし込み、いよ／＼城下へ立出でました。

寫眞は 旭町一 河原へ



紙上病院

出産後の月經

【問】昨年六月出産致しまして一ケ年月經なく本月は漸く二日から少しありましたが若や姙娠ではないでせうか(南米倉町すみこ)

答＝出産後長くなくてはじめて起こつた月經は少いことがありますが少くてもあつたのなれば多分姙娠ではありますまい(産婦人科二宮博士)

局部がカユイ

【問】二十四歳の人妻、十日前から局部の内部が非常にカユクなりました、膣には何等の故障はありません、何といふ病氣でせうか(慶北奉化惱む女)

答＝淡いリゾール液か硼酸水で洗つて御覽なさい(産婦人科二宮博士)

出産が遅れる

【問】卅九歳の女、昨年九月始め月經ありその後姙娠して來たが出産なく廿日ばかり前から陣痛がきゝません、いかゞでせうか(江原道金化郡松)

答＝姙娠中に全身に浮腫が來た場合には決して放任して置いてはいけません、醫者に診察して貰つて適當な治療をしなければなりません、分娩が延びても差支ないかとのお尋ねに對しては胎兒の大いさや骨盤の關係などを計つた上でないと何とも申上げられません(産婦人科二宮博士)

月經が出血か

【問】本年四月分娩、母子共無事ですが月經が四十日目から三日間ありました、らい產の時には一年目に月經がありましたが今度は四十日目ですがいかゞでせう(竹添町山本)

答＝四十日目に月經があつたといふのは出血かも知れません授乳してをれば、そう早く月經が起こつて來ないのが普通です(産婦人科二宮博士)

子宮後屈

【問】二十歳の女、事情あつて十七歳で結婚致しましたが未だに姙娠しません、子宮が後方に傾れてゐるから姙娠の見込がないとの事ですが原因と療法を、(御尋ね生)

答＝子宮後屈症なれば手術を要します、兩方に花柳病をわづらはれた經驗がなければ恐らく障害がないでせうから手術すれば姙娠の可能性が多いです(産婦人科二宮博士)

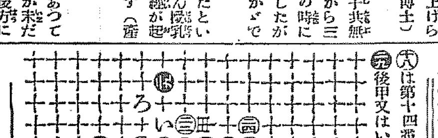
月經不順と腰水

【問】こしけ月經不順をなやんでゐる者ですが某婦人雜誌に夜寢る前三分間か五分間水に腰をつけ、そのまゝふかずに就寢すると大變よい樣にありましたが効果ありませうか(仁川二十四の女)

答＝腰を水につけるのはよくないでせう寧ろ熱い御湯で坐湯する方がいゝです(産婦人科二宮博士)

聯珠必勝法 (33)

(六)は第十四番 (元)後甲又はいろ勝



八月廿九日
(舊曆七月廿二日)(日曜)

▲四緑 ▲庚寅 ▲佛滅 ▲破 ▲星宿

▼四緑▲我意は好さうで實際は左程でない日注意坤と北と壬が吉
▼五黄▲浮ッ調子な日我意を通さうとして失敗する北と西と艮が吉
▼六白▲まめやかに立働いて目上の引立を受ける日東と坤と艮が吉
▼七赤▲出過ぎては顧を嗤へられる居宅內して有利南と東と西が吉
▼八白▲足元の見えぬ事がある日殊にはづみを戒む丙と東と西とが吉
▼九紫▲萬事過進すれば凶も吉と變ずる口舌失物用心東と甲と丙が吉
▼一白▲徒暇の日大規模の計畫は後日にするが得策西と庚と壬が吉
▼二黒▲迂闊にして邪魔に踏入り易い世話事は禁物北と南と艮が吉
▼三碧▲機敏に活動して望外の大利に占む旅立上吉と坤北と壬が吉

天下ノ絶景金剛山
金剛しるこ
松ノ實入

演藝案内

黄金館 東亞共營
八月二十五日封切
大パラマウンド會社提供
大喜活劇 デブのサロメ踊 全篇
名優グアスターキートン君主演
世界名物男デブ君主演
東亞キネマ甲陽スタヂオ特作
臺灣大映畫
軍事悲劇 報國の心 全八卷
本年六月五日東京山階宮邸に於て各宮殿下御台覽の榮を賜ふ
主演 根津新、大岩榮太郎、綾小路雅子、千種百合子
東亞キネマ等持院超特作
有名なる奥州白石に於ける宮城野しのぶ姉妹の仇討咄し
孝譽れ姉妹 仇討乙女椿 全九卷
主演 岡島艶子、淺間昇子、團徳麿、村田宏

喜樂館
八月二十四日より特選名畫大興行
◇日活新劇部近作 大喜劇 娘やるなら學士さんへ 全六卷
◇實寫 ゴリアーの戰 一卷

中央館 マキノキネマ
二十七日より四日間
大劇ファストナショナル社映畫
◇社會劇 洋上の薔薇 七卷
アニター・ステユワード嬢、ルドルフ・キヤメロン氏主演
◇劍劇 義に鳴る虎徹 七卷
日活時代劇第二部超特作
河部五郎(近藤勇)、櫻木梅子、上多見太郎(芹澤鴨)川上彌生共演
原作河合四郎始、監督富澤進郎
時代劇 三千石 全五卷
岩城秀哉、武井龍三、鈴木澄子主演
活劇王トム、ミックス大猛演
フォックス社超特作
自動車大活劇 大魔道王 全五卷
阪妻プロダクション第一回超特作
大捕物 雄呂血 全十二卷
阪東妻三郎、環歌子主演
ファンの熱望に依り再上映致します

大正館
八月廿五日より超特別興行
◎陸軍征服の名映畫大公開◎
プレアード映畫
社會劇 命を賭る男 六卷
エリオットテキスター氏マガレット・リツキングストン嬢
松竹キネマ特作小唄映畫
正木不如丘氏原作(木曾の秋)
哀話 ベニスの船唄 七卷
佐々木清野、武田春郎、秋田伸一
阪東妻三郎プロダクション
監督志波西果
大俠 國定忠次 十卷
中村吟之助

浪花館 電本二六〇番
八月二十一日より
東京講談大眞打
神田伯龍師 外數名

大同館 大和町支店
本月より開店

至る所で評判の 小兒良藥
ヒヤ 奇應丸
飲まぬは子の不幸 知らぬは親の無責任
恐ろしき小兒死亡率 萬一の爲めに常用を怠るな
それは母性愛の結晶
主効 カンムシ・ネツ・キツケ・ヒキツケ・ホウソ・ハシカ・ヨナキ・胃腸・チヂアマシ・下痢其他諸子供
大阪天満橋 樋屋合資會社 振替大阪二二六〇

Ford
フォード

極東に於けるフォード所有者各位は日本、朝鮮、滿洲及び支那に散在するフォードサーヴィスステーションで、充分信賴し、又御滿足の出來る奉仕を得らるゝことが出來ます。

サーヴィスステーションは各種の部分品を手持ちし、修繕に必要なる諸道具を設備して居ります。フォード所有者各位は朝鮮の主なる市及沿道にて、何時でも必要なる手當又は修繕を受けらるゝことが出來ます。斯くて遲引を極度に減少し、迅速で經濟の運搬を可能ならしめます。

模造フォード部分品に御注意あれ。此模造品は劣等の材料にて作られ、壽命短かく且つ多くの場合、乘者の生命に關する程の危險を釀す虞があります。純正フォード部分品のみを御需めになり、災害を御防ぎあれ。

フォードは常に御所有車を完全の狀態に置くことを切望します。此實現の爲めに全世界に三萬以上の サーヴィスステーラーを散在せしめました。

フォード特約販賣店
株式會社セール商會
京城竹添町一丁目七五番地
私書函西大門局五番
電話光化門三六九・〇六一九

日本フォード自動車株式會社

内閣は總辭職せよ 本黨幹部意氣込む

龍頭蛇尾に終らしめる

引下實施の金組利率決定
長期貸一分減

金融組合の利子引下げについては既報したる通り總督府側と協議を中心に組織せられた結果二十八日いよいよ次ぎの如く決定、九月一日より實施する

村落金融組合

	現行	新率
長期	年一割三五	一割二五
保證貸	日四錢七	四錢四厘
擔保貸	四錢二	四錢二厘

都市金融組合

	現行	新率
長期	年一割三五	一割二五
保證貸	日四錢七	四錢四厘
擔保・保貸	四錢二	四錢二厘
手形割引	四錢二	四錢
當座貸	四錢八	四錢五厘

進工のため金剛遂に增資
明春實行と決定
現資本の倍額一千萬圓に

金剛山電氣は鐵原金城間三十二マイルの鐵道と七千キロの發電設備を完成しいよいよ第二期計畫たる金城長安寺間の延長工事に着手について同社資本狀態と今後の事業方針については過般東京における重役會にはかり明春一千萬圓に增資を行ひ事業を遂行せんと目論んである。即ち目下同社の手許は資本總額九百五十八萬五千圓の內資本金五百萬圓（全額拂込）と鐵道建設費六百十萬九千圓、電氣建設費三百九十六萬四千圓を費し目下手もと流動資金としては五十余萬圓よりない、しかも一方四百萬圓の社債と三十二萬圓の借入金を負つてゐるので手もとはゆたかとはいひ難いが明春增資を行ふとすれば借入金を返濟しても四百萬圓の流動資金が加はる譯で目下これが準備を急いでゐる、なほ今後の事業としては昌道より代用里に延長し更に金剛山下長安寺に至ることになつてゐたがこれを昌道より末輝里に延長する方が得策であるので近くこれが變更を出願するはずで目下井上工務課長以下實地踏査中であるが金城昌道間は九月下旬開通の見込である、なほ電燈も需要を增し京電の契約數も增加する內鮮が進んでゐるのでこれに順應すべく第一發電所の放水を利用して第三發電（三四〇〇キロ）第四發電（一八〇〇キロ）總計一二、〇〇〇キロの電力をうるべく計畫を進めてゐる等增資を見越して金剛山電氣の將來は頗る囑望されてゐる

無條件で仲裁者に一任
妥協案は總會一時間前に發表
朝鐵の內紛問題

總會は妥協に終るであらうと豫想されてゐた朝鮮鐵道紛擾は本日東上中の渡邊定一郎氏より雙方無條件にて馬野〇一氏に仲裁を任せ妥協案は總會一時間前に發表する旨の入電がありいよいよ妥協成立は確實となつた從つて總會は大した波瀾なく終了するものと見られてゐる

なほ副社長は當分定位にするとの說もあるが入選するとすれば佐藤潤象氏であらうとしかして十三名位に減員されるものと見られてゐる

重役改選
伊藤氏は平取締役か

朝鮮協會の仲裁にて妥協となるにしても改革派は過半數の株を擁してゐることとて腰強く妥協案は目下極秘にされてゐるが重役改選は改革派の意向を汲み五六名の重役退任となるべく伊藤常務は平取役として在任する說が高い今次方面入電によれば改選後の重役豫想は左の通り

社長	關原俊
在東京重役	賀田直治
京城駐在	松永工
取締役	武和三郎
同	東條正平
同	伊藤利三郎
同	士屋新兵衛
同	長谷川太郎吉
監査役	谷口守雄
同	澤田豐丈
同	室田義文
同	杉浦宗三郎

副社長誰か
佐藤氏の呼聲

朝鐵重役の異動が行はれて、東京京城の駐在常務の更迭を見る豫定であるが副社長制廢止（當分缺員のまま）說に對して鮮內では相當反對がある即ち改選後の新組織は京電の如く技師長を常務に昇任せしめ常務は仕事本位に更に副社長に經營に心あるものを任じて專ら資金の融通を行はしめる方が能率增進上得策とせられてゐるが常務候補の松永工氏は就任するとしても副社長候補の佐藤潤象氏は現在の所就任の意向ないやうであり目下副社長制に悩つてゐるやうであるが總局鹽原氏の鑑一にて就任京城駐在となるとの說が高い

省線着拂擴張
保管期間延長

從來鐵道省線着貨物に對しては着拂は小口扱ひに限られてゐたが今回日鮮滿會議の決議により車扱ひに對しても着拂を取扱ふ事になり鐵道省が自線內を取扱つてゐるにも係らず鮮滿に對してはこれを認むるといふことは非常な發展で甲種經營者側の意味に外ならぬ譯である尚同鐵道到着の貨物の着後保管期間は從來十日であつたがこれを荷主の便宜をはかり二十日間に延長されることとなつたいづれも本年十月一日より實施のはず

京取出來高增
業績頗る良好

京仁兩取合併問題が今日の如く遷延するに至つたについては特に要結閑散期を見越した豫定の結果の如くヤセ我慢を當事者はいつて居るがソハ兎に角右合併說開始以來仲買人の反對により京取の如き特に地高も響かず至極無氣力の商狀を呈して居る一面の理由としては財界不況並に取引關係において聊き離き事情があつたことも見逃すことは出來ない然して本年上半期の業績が好かつたに對して下半期のいちぢるしく不振の狀態にある如く見て悲觀され易いがこれを前年の同期に比すれば左の如く好成績を示して居る六月一日から八月廿七日までの出來高並に手數料は左の通りである

	本年出來高	前年同期出來高
短期	一四〇、八六〇株	一三三、三二〇株
長期	四一、七〇〇株	二、八三四株
手數料長短	三四、三三四圓	三三、九九四圓

即ち前年同期に比し短期出來高約四萬株手數料約一萬圓を增加して居るこの點から見れば財界の根底が好くなつたこと並に京取の業績が上向いて來たことを明示するものである

新設金融組合
認可二十六件

本年度において設立認可を與ふべき金融組合は二十六ケ所と內定しこれを目標として新設組合に對する基本金の下附および經常費の補助額等を見積り本年度の豫算に計上してゐるがこれに對し全鮮各道よりの設立認可申請の件數は五十四を算するので二十八ケ所は設立不認可の運命に陷る

忠南水利組合
土改社が代行

土地改良會社の手によつて代行する水利組合は目下の處忠南唐津水利組合のみであるが同組合は蒙利面積二百町步總工費十二萬圓を要するものである。なほ目下交涉中のものには平安南道同和水利組合があつて同組合は四百町步約十五萬圓の工費といふが何れも工事監督のみを依賴するものである

所得税の申告に慣熟
懇話會を開く

京城商業會議所では所得税に關する申告書類手續き等に慣熟するため九月九日より十一日まで三日間每日午後一時より四時まで京城公會堂において左記要項により官民合同の懇話會を開催する

一、出席者　會社の主なる經營者又は其の代表者
一、官廳側出席者　京畿道廳、京城府廳、高陽郡廳、始興郡廳等の關係職員
一、所得稅綱要配付　出席者には所得税の綱要を記述したる冊子を配付する豫定

府內勞銀
昨年より下落

鮮銀調査七月中の府內勞銀は平均指數二一九、〇六と前月と保合前年同期を百として九七、二六の低落である主なるもの內鮮人別賃銀左の通り（單位圓）

職業	內地人	朝鮮人
大工	三、七〇	二、二〇
木挽	三、五〇	二、四〇
左官	四、二〇	二、五〇
指物	三、五〇	……
桶職	三、三〇	……
煉瓦	三、八〇	……
井戶	三、二〇	二、五〇
表具	三、四〇	二、〇〇
車夫	二、〇〇	一、八〇
人夫	一、八〇	〇、九〇

府內物價騰貴
但し昨年より安い

鮮銀調査、七月中府內物價は左の如く前月中を百として一〇〇、九八昂騰したが昨年同期より九〇、〇一と低落した

品種	本月指數	前月指數
生產品	二〇〇、九九	一九九、二三
輸移入	一九三、七六	一九六、〇八
總平均	二三四、三三	二三〇、三四

主なるものの指數左の通り

品種	本月	前月
玄米	三七六	三五六
精米	三〇三	二九二
小麥	二五二	二三九
麥粉	一八八	一八五
精糖	二四八	二五四
大豆	二三六	二二〇
鹽	一三五	一二八
木棉	二一九	二一九
綿絲	一八五	一七四
綿布	一八五	一八四
棉花	一四〇	一四三
石炭	二四七	二四七
木材	一七一	一七一
金物	一〇八	一一三
洋紙	一七〇	一七二

正金建値引上

【東京電報】正金は廿八日朝對英爲替建値引上を行ひ對英一志十一片八分五と變更し對佛對伊も同時に引上げたが對米は四十七弗四分の三に据置となつた

全鮮郵便爲替貯金

銀行集會所調査八月十六日現在全鮮郵便爲替貯金は左の如く郵便三厘の增加にして振替は六厘の減少を示した前年比較左の通り（單位千圓）

	本年	前年
郵貯	三、七五六	三、六五〇
振替	一、七〇六	一、九一〇

鮮銀券
月末增發に轉じ

鮮銀券は、本日發行高七千百五十二萬圓正貨準備二千三百八十四萬圓と一高一低をたどつてゐるが鮮銀當局の豫想する所によれば來月中旬頃より增勢に轉じ、月末頃には八千萬圓臺出現すべく、從つて下旬以降は限外出現となる筈である。右は九月以降は相當の需資がある見込みでなほ月末拂給二百五十萬圓、南鮮方面の大豆、小麥の資金需要を見越されて居りかたがた閑散である資金は相當繁忙を示すべしと

定例集會變更

京城銀行集會所は每週火土の二日加入會社銀行の午餐會を開いてゐたが此の程銀行のみ會合し每月第二、第四の木曜日を銀行業者のみ會食業務の打合せを行ふことに申合せた

經濟タイムス

近く開かれる全米聯合準備銀行の重役會議に於て全米の金利協定が行はるべく其の結果紐育準備銀行の再度の利上げを見るのではないかと言はれてゐる

◇

鐵道省は改主建從 主義の下に來年度豫算を編成することに內定

◇

大藏省發表＝＝七月末に於ける最初よりの貨幣發行累計尚は十六億六千八百餘萬圓

◇株式◇
新規買物あり

前場　昨保合の氣先今朝は大阪東新の急騰と其他の煽りを入れ依然警戒氣分乍ら弗々新規の買物もあり安値攫みの手詰めもあつて大新の三圓丁度を先頭に鐘新二圓六十錢京取九圓三十錢と小締り殺りに比む
▲京取十錢▲鐘新五十錢高▲大新七十錢高

後場續騰

後場　前場高の氣先後場は阪地大新四圓八十錢の昂騰を入れ襲波氣分乍らバラの買物に稍活氣を帶び結局鐘新出來ず京取變らなかつたが大新は四圓三十錢と躍騰氣丈に大引
▲京取保合▲大新一圓三十錢高

立直り

前日來の市況は保合の裡にも底堅い處があり値頃安と相俟ち買物特に警戒の持合があつたが今朝の阪地市況は東新高を中心に煽りの商情を呈するに至つた當所けまだ鬱疲嚴しく人氣は添はないが東新高の事情としては東京市外債の成立を傳へ之れに伴ふ金利安見越し綿絲輸出の好劇貿易の躍動等周圍が能くなつて來た等の事情は今後の市況に對し相當期待すべきものあらうと唱へられ仕手の披瀝思惑の減退せる昨今としては急激なる立直りは望まれないが東京方面の好況に伴れて徐々に立直りを告ぐるものと見る向が多い

外債成立利く

阪東新高に付き新田仲買店に入つた阪電に依れば『東京債一億圓の外債成立と之に因る金利安見越ら買氣を刺戟した結果である』と

◇期米◇
一進一退

前場　三十三圓七十三錢と手堅く寄付買方の手仕舞ひに四十九と押し五十錢臺に返して引

後場　見送り氣力薄にて三圓四十錢台の小往來に引

双方新甫待

新甫十一限の發會當日は恰も二百十日の大厄日であれば天候の如何でとう變化するかと云ふ案じから賣方も此邊新規の手出しを避け又買方も十一限は百四五十丁の下鞘人氣の點から考へて寧ろ新甫の

◇株式◇（廿八日）

京取短期

銘柄	寄付	大引	高値	安値
京取前	二九・二一	二九・三三	二九・三三	二九・二一
京取後	―	二九・三三	二九・三三	―
鐘新前	―	―	―	―
鐘新後	―	一三三・七〇	一三六・七〇	一三六・五〇
大新前	一〇二・五〇	一〇三・〇〇	一〇五・〇〇	一〇二・五〇
大新後	一〇四・八〇	一〇四・五〇	一〇四・九〇	一〇四・八〇

算定と日步

銘柄	算定（圓）	代引（枚）	日步（錢）
京取	二九・〇〇	、八九〇	二六
鐘新	一五三・〇〇	一三三〇	一・五四
大新	一〇三・〇〇	三、六三〇	一・七六
仁取	八七・〇〇	一〇	・七〇
同新	三一・〇〇	（不）三〇（逆）・二〇	
安取	九・〇〇	一六〇	・二〇
朝鐵	一八・〇〇	四八〇	・一四
群取	……	……	……
釜新	一三・〇〇	一〇	・一〇
鐘新	……	……	……
久釜	六八・〇〇	二〇	・六二

◎以上日步二日分

出來高

長期	四、八〇
累計	二、六八
短計	九一〇
累計	一五二、七六〇

	賣方	買方	限建玉
京取	七	一三	四、四九〇
鐘新	五	六	六〇
大新	四	三	五、三一〇
久原	……	二	二一〇
仁新	三	三	一一〇
安取	一	四	二〇〇

東京株式

銘柄	寄付	銘柄	大引
東株	一九二・二〇	新鐘	二二七・九〇
同新	一七七・六〇	同新	六七・八〇
鮮銀	七〇・六〇	東瓦	四〇・二〇
同新	一七・八〇	同新	一九・二〇
帝蠶	五〇・七〇	富士紡	七二・〇〇
同新	一三・八〇	日石	六五・五〇
東取	二六・二〇	臨港	……

大阪長期

銘柄	前場寄付	前場大引	銘柄	後場寄付	後場大引
鐘紡	二六一・四〇	二六三・〇〇	鐘紡	二六四・四〇	二六四・四〇
同新	一五四・五〇	一五五・〇〇	同新	一五五・六〇	一五五・四〇
大株	一一六・〇〇	一一六・二〇	大株	一一四・四〇	一一七・四〇
同新	一〇四・〇〇	一〇四・二〇	同新	一〇五・三〇	一〇五・五〇
日儲	……	……	日儲	……	……
久原	……	……	久原	……	……
同新	……	……	同新	……	……
郵船	……	……	郵船	……	……
同新	……	……	同新	……	……

大阪短期

銘柄	寄付	大引
大新	一〇二・五〇	一〇三・四〇
鐘新	一五二・四〇	一五三・一〇
久原	六五・八〇	六六・〇〇
大阪東新	一七五・九〇	一七八・〇〇

當限受渡し

當限受渡しは今回納會を告げた當限は受渡石數五千三百石値段三十五圓七十錢で其内容如左

渡方　金太五、二〇〇石▲丸イ一〇〇石
受方　丸ツ四、〇〇〇石▲丸マ一、二〇〇石▲丸カ一〇〇石

中先危まる

當所は買方主力の內海筋が中先の買玉を手仕舞ふので小口提灯筋の失望投げを誘致し相場の氣味面白からざるも阪地は買方主力たる潮先一派が依然押目買の態度を敢行せるのみが今朝某所に達した狀報に依ると賣方側は好機を背景とし弄走せる一に反し買方は正米の氣丈を〇に先限時代は賣方の自由に任して成行く値を冷し期近に廻して一仕事せんの目論見此邊急に直る見込みはないが何萬石かの米提供すべく宣傳された八限が僅かに七千餘石の受渡しに過ぎなかつた事から推すと賣仕見越しに地方筋が賣込むで居る此の中先は何とかなく先行きが心細いと云ふ手口もある

割か高過ぎる

新米を目捷に控へた十限が阪地と新米當與の一圓を除く二百四五十丁の鞘は割高で買へないのみか阪地の當限は四十圓七十五錢と納會を告げたにも拘はらず當所當限が三十五圓攫みに頭重いのは先限時代に鞘を無理した咎めと云ふ外ない現に大邱若松商會や地増村上商店は內地米を買ふて中限にをして居るやうな始末で實際には引合はないにしても斯の如き態度を以ゃかすと云ふ事が當所の割高を證明せるものでも少阪地との鞘か擴大しないと賣餘地はないと或玄は語つて居た

證券受渡格附變更

仁川米豆取引所に於ては大正十五年十一月限證券受渡に適用すべき大正十五年產米格附表並に大正十五年十一月限より同十六年二月限の證券受渡に適用すべき大正十四年產米格附表中石拔米の格上率を左の通り變更し尚石拔米は別に一石に付一等二等は八十錢三等六十錢四等四十錢格上を爲す

銘柄等級	特等	一等	二等	三等
〇キ	三〇上	二二〇上	二〇〇上	一八〇上
〇チ	三〇上	三〇上	二〇〇上	一八〇上
〇セ	三〇上	三〇上	二〇〇上	一八〇上
〇セ	三〇上	三〇上	二〇〇上	一八〇上
〇ケ	二〇〇上	二〇〇上	一八〇上	一六〇上
〇ヘ	二〇〇上	二〇〇上	一八〇上	一六〇上
〇コ	二〇〇上	二〇〇上	一八〇上	一六〇上
〇ケ	二〇〇上	二〇〇上	一八〇上	一六〇上

石拔料認可

石拔料變更の件は昨二十七日其筋の認可あり十一限より既報の如く一等二等八十錢三等六十錢四等四十錢と變更實施の事となつた

東京期米

仁川穀物出入（廿七日）

	（移）	（入）	
籾	……	……	五四五
玄米	一、	三五〇	
大豆	一、	二三〇	

移出		
白米	（叺）	二、二五〇
玄米	（叺）	一、八三九
大豆	（叺）	一、四四五

◇正米◇
徐々下押す

京城　未だ安値には手放さる物あり沿線方面よりは兎々ながら蹴米も可なりのものにて三圓以上は買入なき有樣にてズリ四圓以上は買入なき有樣にてズリ〱安の風情である

仁川　丸キ角チ三等三五圓三〇四等三四圓八九〇釵邱丸十錢九圓佐米種十錢七匣一等白三九圓七〇大豆龍山二七圓五つ長湍一七圓白川一五白七八〇見當にて大豆は多少買氣あるも正米は殆と無手合である

正米標準値

丸キ四等	三四圓七〇
白米御値	四一圓五〇

◇商況◇

大豆（不引立）昨今は龍山以外は殆ど買人なく其他山も採算不引合とあつて値頃狙ひの見送り狀態なるが手持筋は元高の關係上時機待ちで賣過りの體にて三等一八圓五〇賞八圓七八〇賞の唱へにて其他は取引皆無なから見當相場は金汁一六圓運鐵一六圓六〇處の持合唱へである

鮮魚（京城魚市場廿八日）十貫に付圓▲タイ四八▲小ダイ六二▲車エビ一三〇▲小エビ五〇▲サワラ二五▲コノシロ三〇▲ヒラメ三五▲タコ二二▲スズキ四五▲ハモ三〇▲アワビ三八▲ニベ一四▲サヨリ五〇▲生ニベ二五▲アイ一三〇

安取株式

	前日引	本日前場寄付	同大引
當	……	……	……
先	八・五〇	……	八・五〇

◇期米◇（廿八日）
▲仁川

	當限	中限	先限
前場（一）	三三・〇九	三五・五三	三三・七三
（二）	三三・〇五	三五・四〇	三三・四九
（三）	三三・二〇	三五・三三	三三・五二
（四）	……	三五・三五	三三・五四
（五）	三五・三五	三五・四〇	三三・五八
（六）	……	……	三三・五七
（七）	三五・三四	三五・四〇	三三・五八
（八）	……	……	三三・五九
（九）	三五・三〇	……	三三・五八
（十）	三五・三〇	……	三三・五四
後場（一）	……	三五・三〇	三三・四九
（二）	……	三五・三〇	三三・四四
（三）	……	三五・二九	三三・四三
（四）	……	三五・二八	三三・四四
（五）	……	三五・二九	三三・四四
（六）	……	三五・二九	三三・四四
（七）	……	三五・二九	三三・四一

納入値段三五・二一、三五・四〇　三三・六〇

	當限（石）	中限（石）	先限（石）
出來高	五、三〇〇	八、五〇〇	一五、五〇〇
出來高	五〇、八〇〇		
累計	六、〇〇九、三〇〇石		

	本日前場止	昨日後場止	比較
仁川	三三・五四	三三・七〇	一六安
大阪	三七・三五	三七・三五	一〇安

各店倭合せ

中限賣方　金太五八〇〇▲丸ツ二七〇〇▲丸カ四〇〇
同買方　丸玉三四〇〇▲丸マ三〇〇〇▲丸官二一〇〇▲丸イ三〇〇
先限賣方　ス丸四七〇〇▲金太四八〇〇▲丸イ三七〇〇▲丸カ二八〇〇▲丸福三〇〇
同買方　一〇〇▲丸玉七四〇〇▲丸マ三一〇〇〇▲丸官四六〇〇▲丸ウ二〇〇▲丸大二〇〇

外米期米

●東京　前場　後場
當限　……　……
中限　一七・……　……
先限　……　……

●大阪　前場　後場
……

●神戶　前場　後場

●下關　前場　後場
寄付　三七・九〇　三五・七九
止め　三七・〇八　……

●名古屋　前場　後場
寄付　三五・九〇　三五・〇九
止め　三五・八三　……

●大邱　……

鮮魚（高麗）

海上時化で漁獲少く相場は一齊に反騰賣需の小口物旺盛に取引さる入漁船百二十二隻水揚高一千七百十九圓十貫建▲タヒ七〇▲クカ九▲アワビ三三▲ヒラメ一四▲サワラ二二▲エビ七〇▲グチ八▲タコ一五▲コノシロ二〇▲ハウヲ五▲ススキ三三▲ハモ一八▲雜七

▲前子　天候不良と品渺薄で出廻りとかく順調を缺き買需筋の買氣は案外強くチリメン極上五十二圓大羽二十圓から極上三〇圓までであつた

▲保留　漁撈の終熄と生産減で市況は閑散貿易筋の引合杜絕で僅かに小口の商內あるのみ十九圓處の唱へ

▲瀨戶貝　在品一掃され無商內の姿相場としても取引なければ現れない

青果（南大門市場廿八日）

▲長イモ十貫一八圓▲生ガ六圓五〇▲大根十把四〇錢より一圓五〇▲人ジン四〇錢▲關東十貫七圓五〇▲南瓜二圓八〇▲玉葱一圓三〇▲胡瓜白木一圓より四圓五〇▲トマト一貫三〇錢▲西瓜十貫四圓より五圓五〇

外糖

▲キューバ當期二弗二分ノ一▲ジャワ糖八日限一〇ギルダ十六分十三▲倫敦糖八日限一三志五片四分ノ一

大阪三品

	前場寄付	同引	
八限	二〇〇	……	
九限	二〇〇	二〇〇	
十限	二〇〇	二〇〇	
十一限	二〇〇	二〇〇	
十二限	二〇〇	二〇〇	
一限	二〇〇	二〇〇	

橫濱生絲

	前場	後場
寄付	一五九・七〇	一六八・一〇
同止	……	……

大阪砂糖

	前場	後場
寄付	……	一三・四八
同止	……	一三・五一

砂糖現物（日糖 ST）

賣値	二三・五五

鮮平銅

	昨日後場寄	同大引	本日前場寄	同大引
先	一五一・九	一五二・一四	一五二・一一	一五一・三一

海外經濟電報

倫敦銀塊　二九片十六分の一
英米爲替　四弗八五仙四分の一
米棉　十五錢高
印棉　十錢安
ステール株　一四九弗二分一
アナゴンダ株　四九弗四分の一

紐育銀塊　六三仙丁度
日米爲替　四七弗四分三
米棉　ストリツクトミツドリング

現物六二圓　先物六二圓

日銀帳尻

發行高	一、一六九、八二二	增一三〇、一二三
正貨準備	一、〇六六、一三三	增減なし
限外發行	二、七八八	
貸出	三三三、一三四	增一三、六〇三

東京一月

日條件 一、五〇より
通 一、五〇より
越 一、九〇より

鮮銀帳尻

發行高	七一、五二七、〇〇〇	
正貨準備	二三、八四六、〇九〇	
保證準備	四七、六八一、一三〇	

京城手形交換高（二十八日）

枚數	二、八九三枚	
金額	一、一三三一、六一六圓	

對外爲替（鮮銀建値）

電信	一志二片八分五
一覽	四七弗四分三
上海	六七兩丁度

落穗を拾ふ

▲集會所午餐會は銀行家と事業家とが吳越同舟で食卓を共にした▲其の雰圍氣は至極圓滿なわけだがしかし何しても一方は貸す方、他方は借りる方だから▲時ありて吳越互ひに分れて譯らねばならぬところもある▲分れたいとはかねてからの雙方の希望だがさてこれといふキッカケもなくて居たところ今度いよいよ分離して各別の日に午餐會を開くこととした▲從つて事業家側の午餐會日には銀行家側の日には事業家の評判が口の端沙汰がやかましく▲反對に銀行家の前にのぼる▲それは面白いといふのでわれ等も集會所樓上の驚聞にラチオを仕掛けやうと計畫して見たが▲それは少し出過るやうな氣がするから中止した▲といふ程神經をとがらせもせぬから大安心してにおたがひがお互ひを月旦すべしちわざ致すべした▲鮮銀の幹部調總裁は遂に逝去した▲まだ一回も來鮮しなかつたのに▲哀悼々々

解內延べ（廿九日前場）

●釜山

	現物標良部	同 カ
寄付	三六・〇〇	三五・三〇
大引	……	……
高値	……	四、八〇〇石
安値	……	……

九中	四・六二
九末	四・四二
十中	四・六二

●群山

イマスリ	九七三等
同四等	……
カクチ三等	……
同四等	……
出來高	一三、八〇〇石

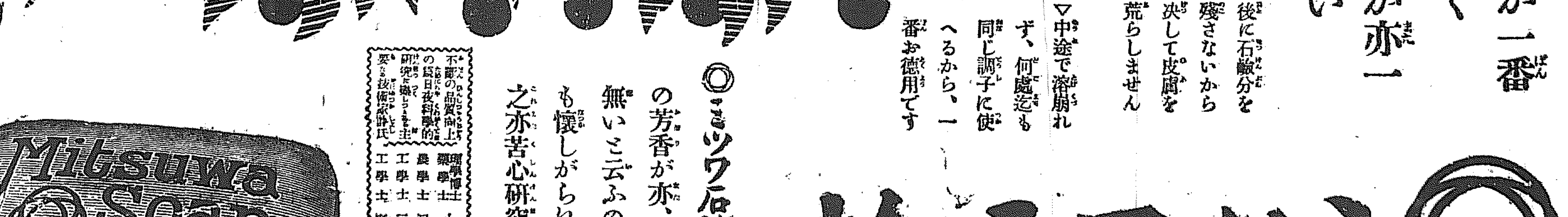
八末	三五・四〇
九中	四・七三
九末	三・九〇
十中	四・〇八

定期米賣買並精米部

㋕　力武商店

仁川本町一丁目四
電話（長）七一、七二、三五、六二、五九

大海上手は愈々三大厄日に直面せんとす雨か風か今後に起る變動こそ斯界の勇士が痛快なる勝敗の甘夢を味ふ絶好の機會である多少に拘はらず御用命を乞ふ
營業案內御申越次第呈上



（實物大形ミツワ石鹸）

◎ミツワ石鹸

の芳香が亦、溫雅此上は無いと云ふので、何方にも懷しがられて居ります之亦苦心研究の結果です

不斷の品質向上の爲日夜科學的研究に從ふ主要なる技術家諸氏
理學博士 小平勘氏
藥學士 河村正鑑氏
農學士 三國次郎氏
工學士 野中正夫氏
工學士

作用が一番緩和く保ちが亦一番好い

▽後に石鹸分を殘さないから決して皮膚を荒らしません

▽中途で溶崩れず、何處迄も同じ調子に使へるから、一番お德用です

ミツワ石鹸

本舖東京　丸見屋商店